

甲賀市市政に関する意識調査報告書  
【環境保全・健康づくり・スポーツ】

令和6年3月  
甲賀市

## 目次

I	調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査票の配布・回収の状況	1
4	標本抽出計画と集計にあたっての整理事項	1
5	本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて	3
II	回答者の属性	4
III	調査結果	9
1	環境保全について	9
(1)	住んでいる地域周辺の現在の環境について	9
(2)	住んでいる地域周辺の、10年前と比べての変化	12
(3)	環境保全推進のために、甲賀市が取り組むべき施策	15
(4)	「生ごみ堆肥化循環システム」の認知状況	17
(5)	「生ごみ堆肥化循環システム」への参加状況	19
(6)	「生ごみ堆肥化循環システム」に参加していない理由	21
(7)	『デコ活』の認知状況	23
2	健康について	25
(1)	朝食の摂取状況	25
(2)	主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を一日2回以上とる日について	27
(3)	日常生活の中での歩数計測について	29
(4)	スポーツ・趣味・ボランティア活動等を通じての人と交流する機会	33
(5)	最近1か月間のストレスについて	35
(6)	最近3か月間の睡眠について	37
(7)	しっかりと話を聞いてくれる相手の有無	39
(8)	住んでいる地域とのつながり	41
(9)	歯や口の症状について	43
(10)	血液検査や血圧値などの健診結果の見方について	45
3	スポーツについて	47
(1)	1回30分以上の運動頻度	47
(2)	複数人で行うスポーツをする機会	50
(3)	パラスポーツ（障がい者スポーツ）への関心	52
(4)	スポーツボランティア活動への参加意向	54

資料：アンケート調査票

# I 調査の実施概要

## 1 調査の目的

環境保全・健康づくり・スポーツの領域について、市民の意見や評価を、意識調査により統計的に把握し、今後の取り組みを推進するための基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

## 2 調査の設計

- 調査地域:甲賀市全域
- 調査対象:市内在住の16歳以上の男女
- 調査標本数:3,000人
- 調査抽出法:層化二段無作為抽出法(抽出台帳:住民基本台帳、旧町5地域別)
- 調査方法:郵送配布・郵送回収、またはインターネットによる回答
- 調査時期:令和5年10月6日～10月20日

## 3 調査票の配布・回収の状況

- 配布数:3,000件
  - 回収件数(率):1,263件(42.1%)
  - 有効回答数(率):1,260件(42.0%)
- うち郵送回収:887件(70.4%)、インターネット回答373件(29.6%)

## 4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

### ① 標本抽出計画と集計母数(集計対象数)

今回の調査では、アンケート調査配布数(標本数)を市内5地域と母集団構成比に応じて配分した。地域別の回収率は甲賀地域が52.3%で最も多く、以下、信楽地域が43.0%、甲南地域が42.1%、土山地域が41.1%、水口地域が38.8%と続いている。すべての地域で前回調査よりも回収率が低くなっている。

有効回答の構成比と母集団構成比をみると、有効回答の地域区分は母集団構成比に近い。

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率 (令和2年)
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
水口地域	35,230	45.7%	1,383	46.1%	536	42.5%	38.8%	41.0%
土山地域	6,254	8.1%	241	8.0%	99	7.9%	41.1%	43.4%
甲賀地域	8,317	10.8%	298	9.9%	156	12.4%	52.3%	58.8%
甲南地域	17,736	23.0%	727	24.2%	306	24.3%	42.1%	45.5%
信楽地域	9,576	12.4%	351	11.7%	151	12.0%	43.0%	50.8%
不明・無回答	-	-	-	-	12	1.0%	-	-
合計	77,113	100%	3,000	100%	1,260	100%	42.0%	45.6%

年代別の回収率は70歳以上が59.8%で最も多く、以下、60歳代が57.2%、50歳代が43.6%、40歳代が30.8%、30歳代が26.9%、20歳代以下が20.4%と続いている。

有効回答の構成比と母集団構成比をみると、有効回答は年齢層が高い構成であることがわかる。

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率 (令和2年)
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
20歳代以下	12,640	16.4%	525	17.5%	107	8.5%	20.4%	26.0%
30歳代	9,462	12.3%	372	12.4%	100	7.9%	26.9%	34.5%
40歳代	11,814	15.3%	467	15.6%	144	11.4%	30.8%	35.1%
50歳代	11,825	15.3%	452	15.1%	197	15.6%	43.6%	46.1%
60歳代	11,246	14.6%	428	14.3%	245	19.4%	57.2%	66.4%
70歳以上	20,126	26.1%	756	25.2%	452	35.9%	59.8%	57.7%
不明・無回答	-	-	-	-	15	1.2%	-	-
合計	77,113	100%	3,000	100%	1,260	100%	42.0%	45.6%

## ② 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、本結果から甲賀市の16歳以上の人口(母集団)の意識や要望等を推定することができる。ただし、今回の結果が抽出調査のため、数字の誤差を考慮する必要がある。そこで、どの程度の誤差があるのかを以下の数式で求めた。

世論調査では、信頼度95%(同じ調査を対象を変えて行った場合に、100回中95回は同様の結果が得られると考えてもよい)の水準を求めることが一般的とされており、これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差を算出した。その結果、標本誤差=2.74%(小数第3位四捨五入)となり、母集団の回答は今回のアンケート調査結果の±2.74%の区間に95%の確率で存在すると言える。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

±1.96：信頼度95%の時の係数

N：母集団数(調査時点の甲賀市の16歳以上人口：77,113) n：標本数(有効回答数：1,260)

P：標本測定値0.5(50%(0.5)のときに最大となるため0.5で計算)

## 5 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

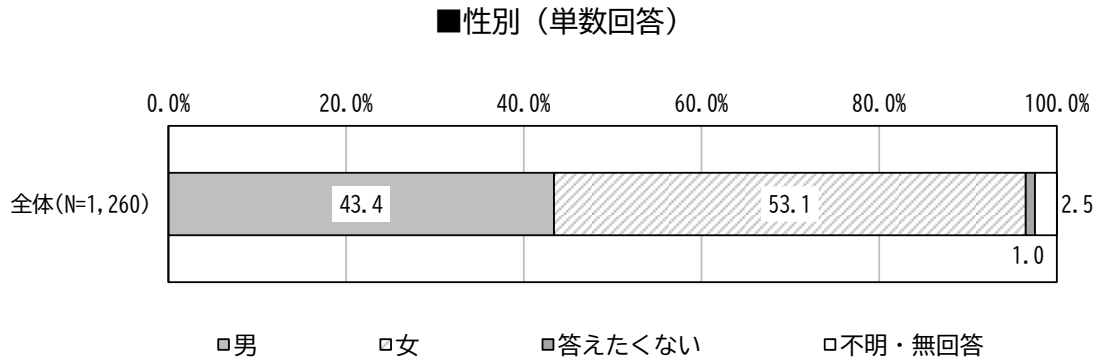
- ・ 回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分比(%)で示し、百分比は小数第2位を四捨五入して小数第1位までを表示している。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの比率を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- ・ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。
- ・ 図表中の「N」は集計対象者総数または、回答者限定設問の限定条件に該当者数を示している。

## II 回答者の属性

### ① 性別

「問 1」 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

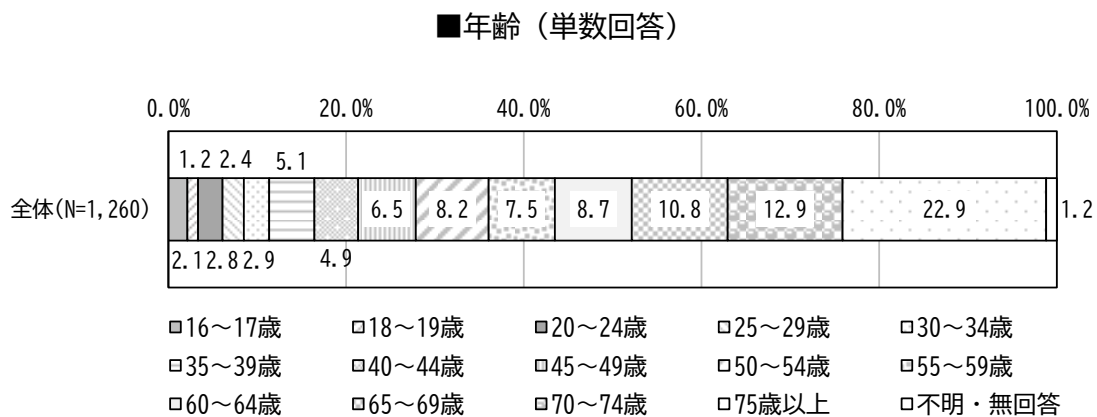
性別は、「男」が43.4%、「女」が53.1%、「答えたくない」が1.0%となっている。



### ② 年齢

「問 2」 あなたの年齢は、10月1日現在でいくつですか。(○は1つ)

年齢は、「75歳以上」が22.9%で最も多くなっており、以下、「70～74歳」が12.9%、「65～69歳」が10.8%と続いている。

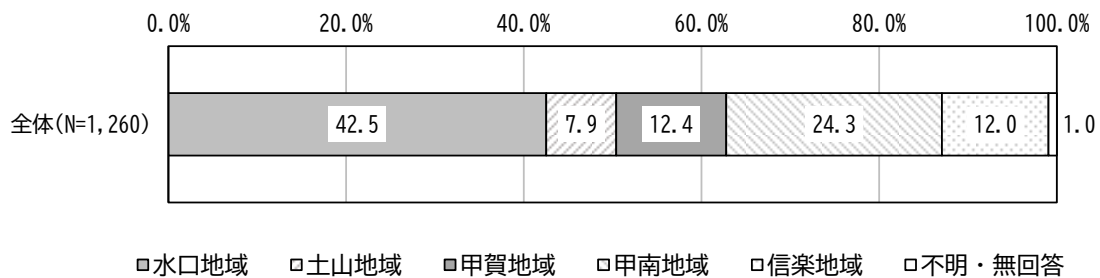


### ③ 居住地域

「問 3」 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

居住地域は、「水口地域」が 42.5%で最も多くなっており、以下、「甲南地域」が 24.3%、「甲賀地域」が 12.4%、「信楽地域」が 12.0%、「土山地域」が 7.9%と続いている。

■居住地域（単数回答）



### ④ 甲賀市の居住歴

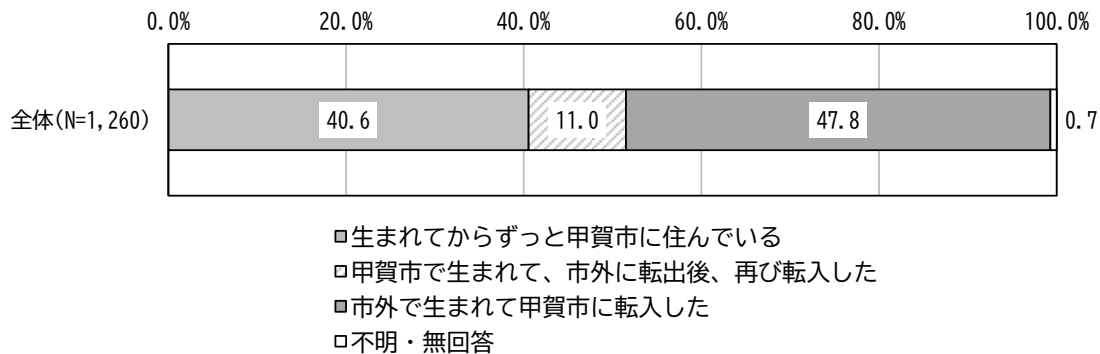
「問 4」 あなたは、いつから甲賀市にお住まいですか。(○は1つ)

「問 4-1」 問 4 で「甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した」または「市外で生まれて甲賀市に転入した」と回答された方におたずねします。

転入後、何年ぐらい甲賀市にお住まいですか。(○は1つ)

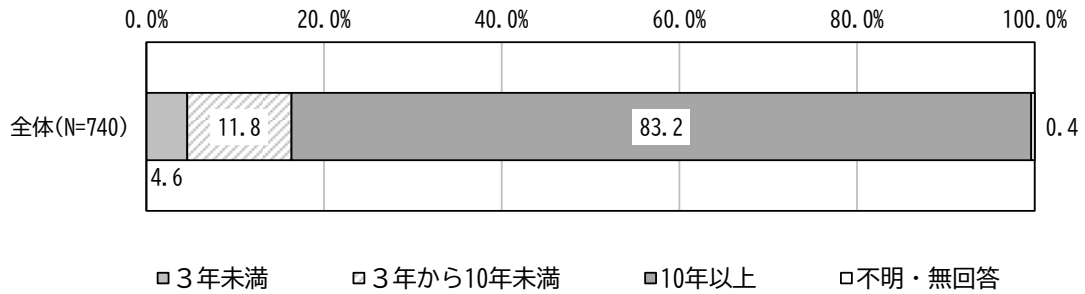
甲賀市の居住歴は、「市外で生まれて甲賀市に転入した」が 47.8%で最も多くなっており、以下、「生まれてからずっと甲賀市に住んでいる」が 40.6%、「甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した」が 11.0%と続いている。

■甲賀市の居住歴（単数回答）



転入後の居住年数は、「10年以上」が83.2%で最も多くなっており、以下、「3年～10年未満」が11.8%、「3年未満」が4.6%と続いている。

■転入後の居住年数（単数回答）

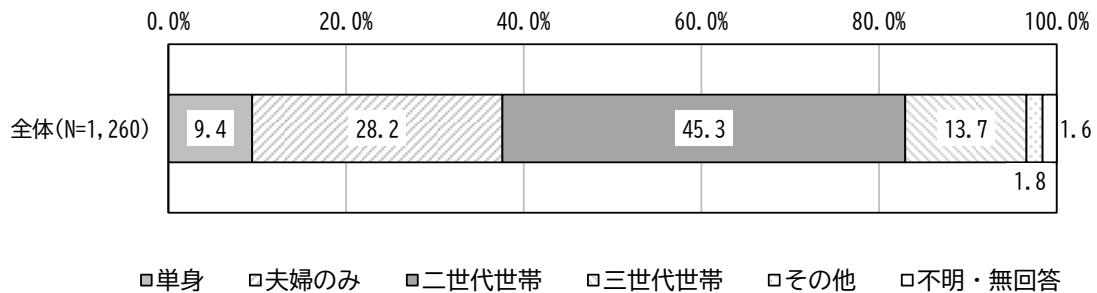


⑤ 世帯(同居)構成

<<問 5>> あなたの世帯(同居)はどのような構成ですか。(○は1つ)  
 <問 5-1> 問5で「二世帯世帯(親・子)」「三世帯世帯(親・子・孫)」「その他」のいずれかに回答された方におたずねします。  
 あなたに、就学前または就学しているお子様・お孫様(同居)はおられますか。  
 (○はいくつでも)※別居されているお子様・お孫様は含みません。

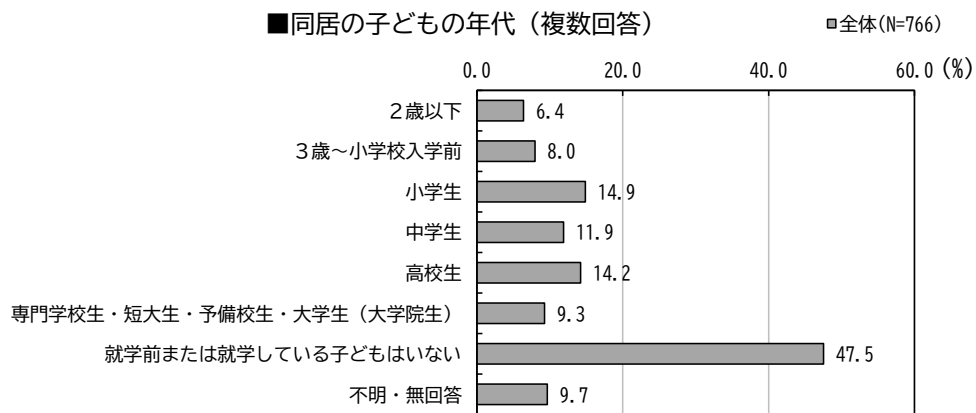
世帯(同居)構成は、「二世帯世帯(親・子)」が45.3%で最も多くなっており、以下、「夫婦のみ」が28.2%、「三世帯世帯(親・子・孫)」が13.7%と続いている。

■世帯（同居）構成（単数回答）





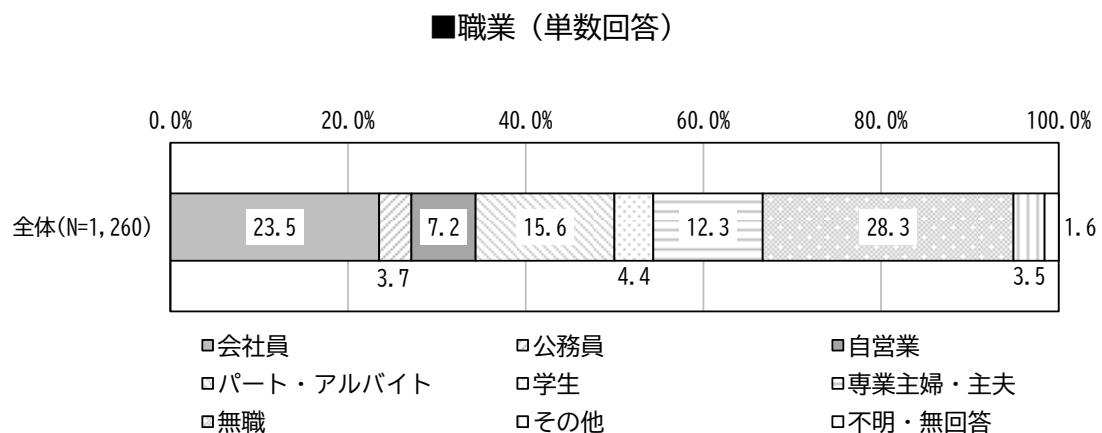
同居の子どもの年代は、「就学前または就学している子どもはいない」が 47.5%で最も多くなっており、以下、「小学生」が 14.9%、「高校生」が 14.2%と続いている。



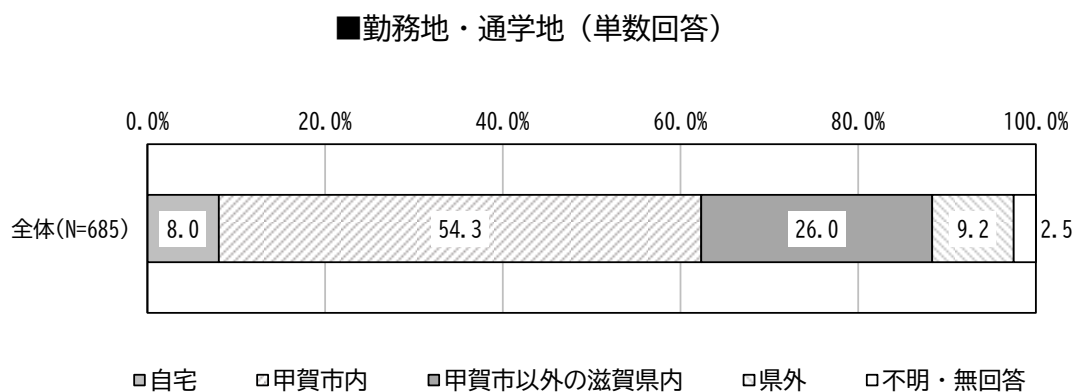
## ⑥ 職業

<<問 6>> あなたの職業等は何ですか。(○は1つ)  
 <問6-1> 問6で「会社員」「公務員」「自営業」「パート・アルバイト」「学生」のいずれかに回答された方におたずねします。  
 あなたの勤務地(通学地)はどちらですか。(○は1つ)

職業は、「無職」が 28.3%で最も多くなっており、以下、「会社員」が 23.5%、「パート・アルバイト」が 15.6%と続いている。



勤務地(通学地)は、「甲賀市内」が 54.3%で最も多くなっており、以下、「甲賀市以外の滋賀県内」が 26.0%、「県外」が 9.2%、「自宅」が 8.0%と続いている。



### Ⅲ 調査結果

#### 1 環境保全について

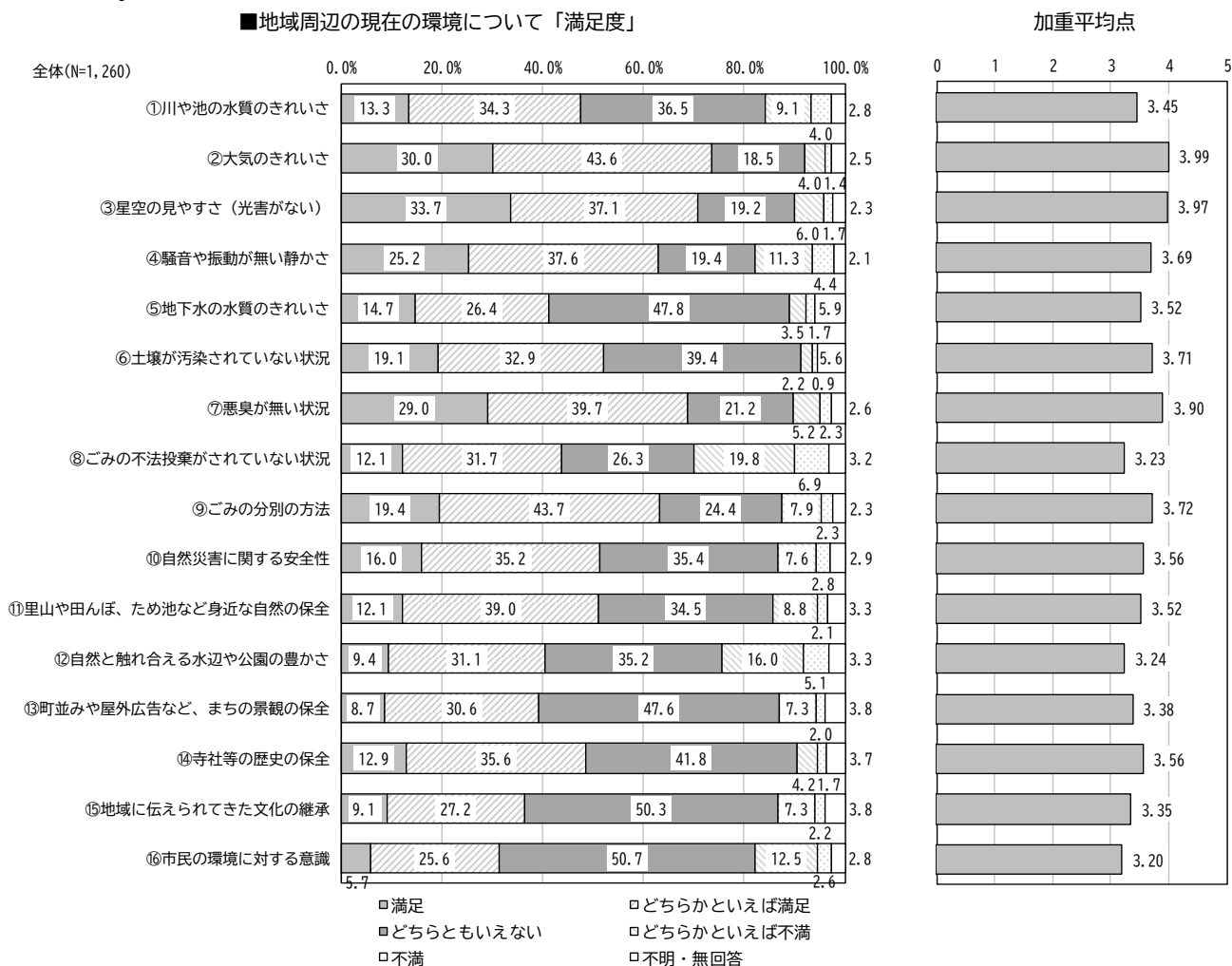
##### (1) 住んでいる地域周辺の現在の環境について

◀問 7▶ あなたが住んでいる地域周辺の現在の環境について、あなたの「満足度」と「重要度」についておたずねします。以下の①～⑯のそれぞれの項目について、右の欄の1～5の中からあなたの満足度合い、重要度合いに最も近い番号を選んでください。(それぞれ○は1つ)

##### ① 満足度

●全体でみると、「満足」が最も多いのは「星空の見やすさ(光害がない)」で 33.7%、以下、「大気のおいしいさ」で 30.0%、「悪臭が無い状況」で 29.0%と続いている。「不満」が最も多いのは「ごみの不法投棄がされていない状況」で 6.9%、以下、「自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ」で 5.1%、「騒音や振動が無い静かさ」で 4.4%と続いている。

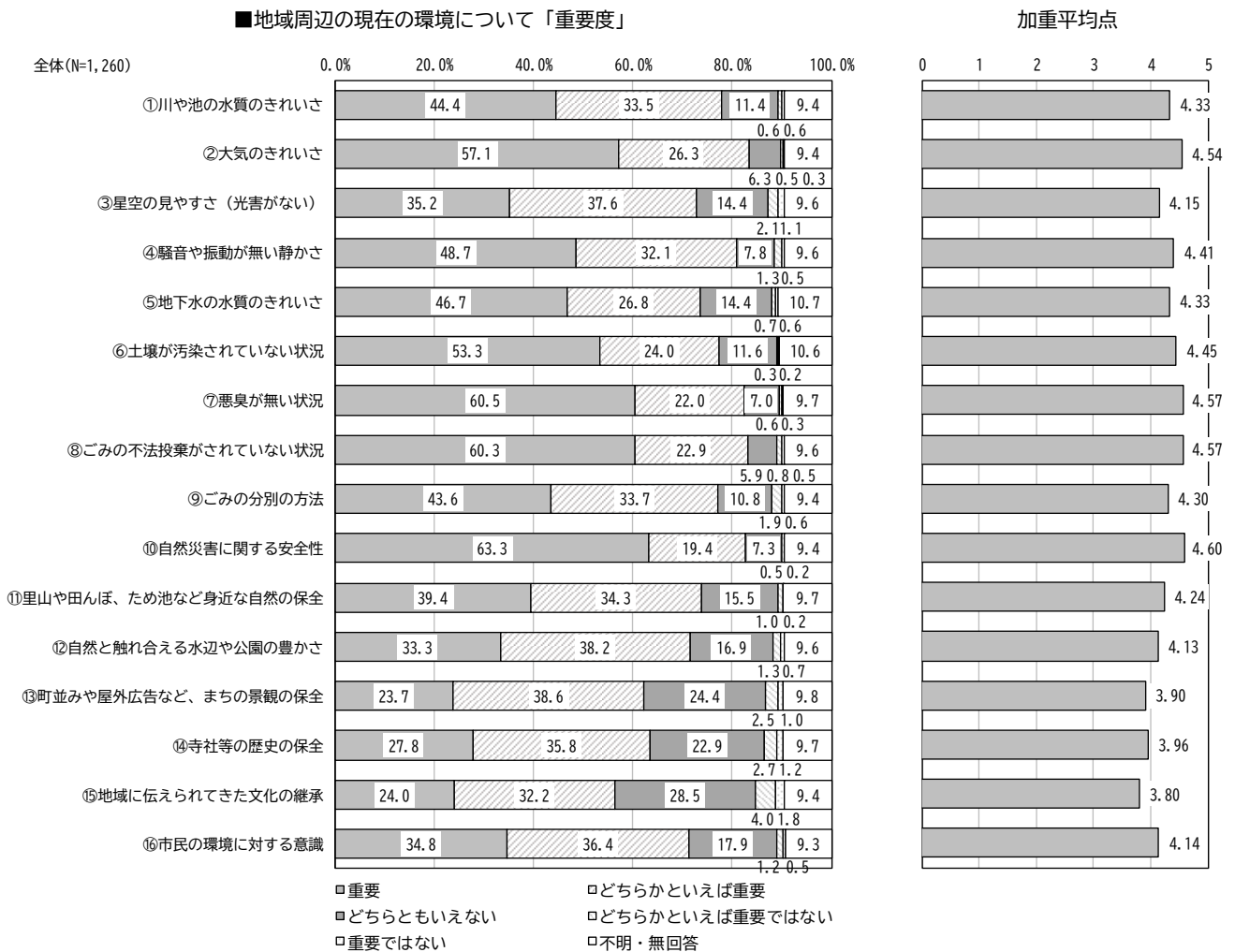
●加重平均値(「満足」を 5 点、「どちらかといえば満足」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「どちらかといえば不満」を 2 点、「不満」を 1 点とした場合)でみると、最も高いのは「大気のおいしいさ」で 3.99 点、以下、「星空の見やすさ(光害がない)」で 3.97 点、「悪臭が無い状況」で 3.90 点と続いている。



## ② 重要度

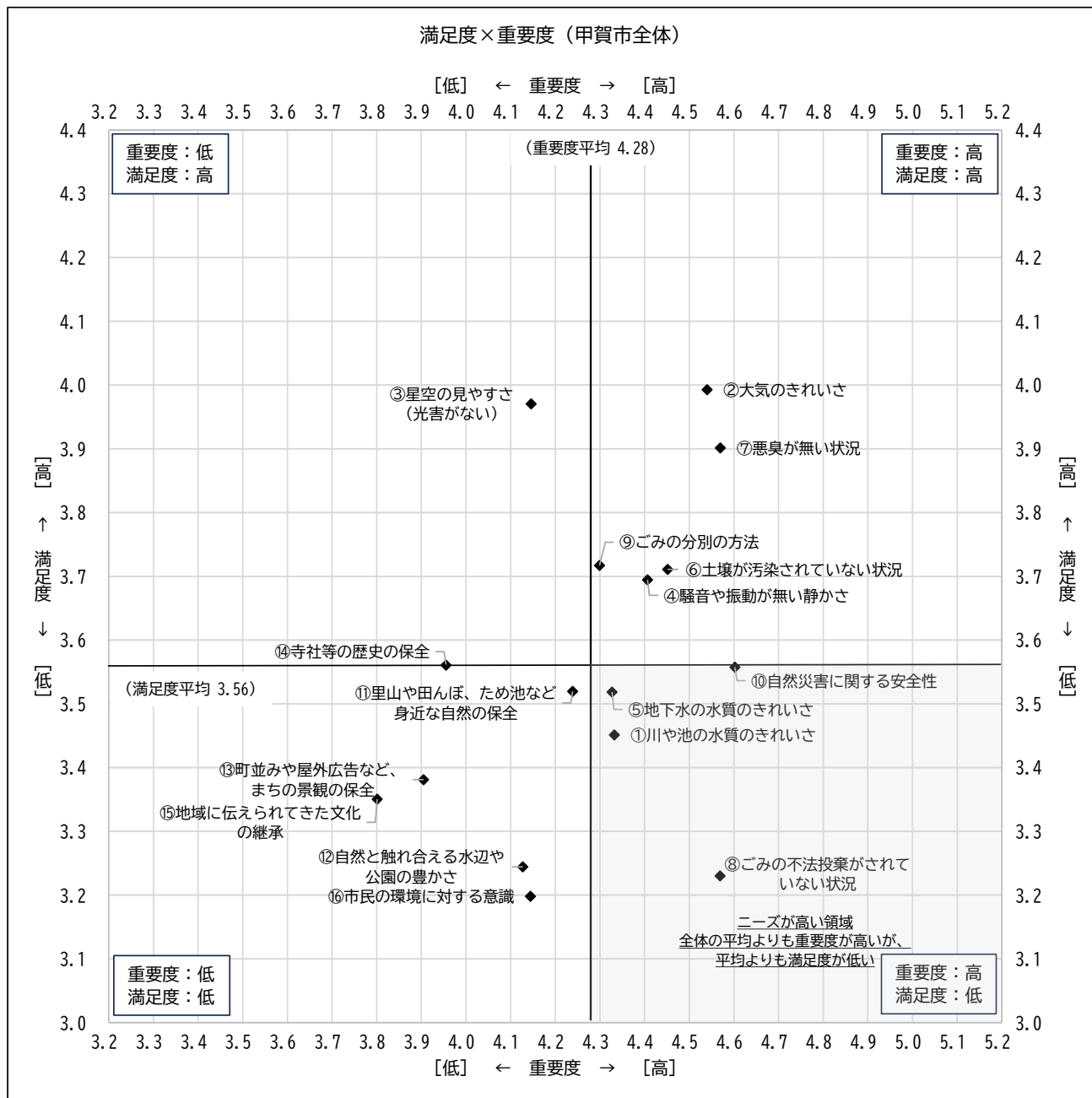
●全体でみると、「重要」が最も多いのは「自然災害に関する安全性」で 63.3%、以下、「悪臭が無い状況」で 60.5%、「ごみの不法投棄がされていない状況」で 60.3%と続いている。「重要ではない」が最も多いのは「地域に伝えられてきた文化の継承」で 1.8%、以下、「寺社等の歴史の保全」で 1.2%、「星空の見やすさ(光害がない)」で 1.1%と続いている。

●加重平均値(「重要」を 5 点、「どちらかといえば重要」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「どちらかといえば重要ではない」を 2 点、「重要ではない」を 1 点とした場合)でみると、最も高いのは「自然災害に関する安全性」で 4.60 点、以下、「悪臭が無い状況」「ごみの不法投棄がされていない状況」で 4.57 点、「大気の流れいさ」で 4.54 点と続いている。



### ③ 満足度と重要度の関係

満足度を縦軸、重要度を横軸とし、全項目の加重平均値の平均を原点とした 2 次元上にそれぞれを配置した場合、「川や池の水質のきれいさ」「地下水の水質のきれいさ」「ごみの不法投棄がされていない状況」「自然災害に関する安全性」の 4 項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



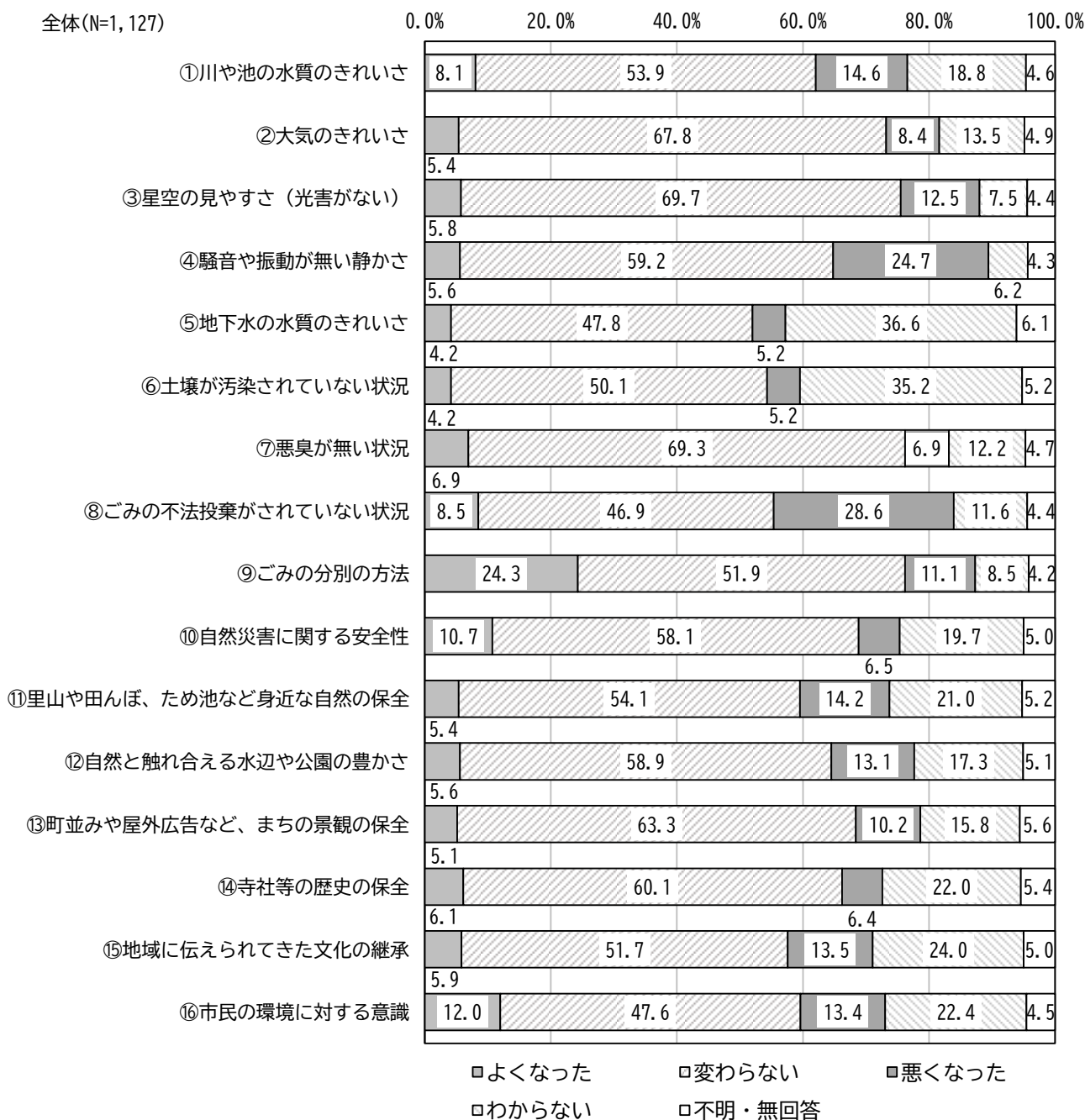
※全体の満足度平均 3.56 重要度平均 4.28 を中心として 2 軸 4 象限にプロットしている。

(2) 住んでいる地域周辺の、10年前と比べての変化

《問 8》 現在の住所に10年以上お住まいの方におたずねします。  
 あなたの住む地域周辺の状況は、10年前と比べてどう変わりましたか。各項目について、  
 あなたのお考えに近い番号を選んでください。(それぞれ〇は1つ)

住んでいる地域周辺の、10年前と比べての変化について、「よくなった」の割合をみると、最も多いのは「ごみの分別の方法」で24.3%、以下、「市民の環境に対する意識」が12.0%、「自然災害に関する安全性」が10.7%と続いている。

■住んでいる地域周辺の、10年前と比べての変化



前回の調査の「よくなった」の割合と比較すると、「地域に伝えられてきた文化の継承」以外は減少している。また、「ごみの分別の方法」が前回に引き続き最も多くなっている。

■住んでいる地域周辺の、10年前と比べての変化（単数回答）

【経年比較】

「よくなった」の場合		R5調査		R2調査	
		N=1, 127		N=1, 213	
		%	順位	%	順位
①	川や池の水質のきれいさ	8.1%	5	10.6%	5
②	大気きれいさ	5.4%	12	6.3%	12
③	星空の見やすさ（光害がない）	5.8%	9	6.5%	11
④	騒音や振動が無い静かさ	5.6%	10	6.2%	13
⑤	地下水の水質のきれいさ	4.2%	15	5.1%	15
⑥	土壌が汚染されていない状況	4.2%	15	4.7%	16
⑦	悪臭が無い状況	6.9%	6	9.0%	7
⑧	ごみの不法投棄がされていない状況	8.5%	4	11.9%	4
⑨	ごみの分別の方法	24.3%	1	30.4%	1
⑩	自然災害に関する安全性	10.7%	3	15.6%	2
⑪	里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	5.4%	12	8.2%	8
⑫	自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	5.6%	10	9.4%	6
⑬	町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	5.1%	14	7.8%	10
⑭	寺社等の歴史の保全	6.1%	7	7.9%	9
⑮	地域に伝えられてきた文化の継承	5.9%	8	5.4%	14
⑯	市民の環境に対する意識	12.0%	2	13.4%	3

「悪くなった」の割合をみると、最も多いのは「ごみの不法投棄がされていない状況」で 28.6%、以下、「騒音や振動が無い静かさ」が 24.7%、「川や池の水質のきれいさ」が 14.6%と続いている。この3項目は、前回の調査でも上位となっている。

■住んでいる地域周辺の、10年前と比べての変化（単数回答）

【経年比較】

「悪くなった」の場合		R5調査		R2調査	
		N=1,127		N=1,213	
		%	順位	%	順位
①	川や池の水質のきれいさ	14.6%	3	21.0%	3
②	大気きれいさ	8.4%	11	13.5%	8
③	星空の見やすさ（光害がない）	12.5%	8	16.5%	4
④	騒音や振動が無い静かさ	24.7%	2	30.3%	2
⑤	地下水の水質のきれいさ	5.2%	15	9.2%	14
⑥	土壌が汚染されていない状況	5.2%	15	9.4%	13
⑦	悪臭が無い状況	6.9%	12	11.9%	11
⑧	ごみの不法投棄がされていない状況	28.6%	1	32.8%	1
⑨	ごみの分別の方法	11.1%	9	10.8%	12
⑩	自然災害に関する安全性	6.5%	13	9.2%	14
⑪	里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	14.2%	4	15.5%	5
⑫	自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	13.1%	7	15.5%	5
⑬	町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	10.2%	10	13.4%	9
⑭	寺社等の歴史の保全	6.4%	14	6.8%	16
⑮	地域に伝えられてきた文化の継承	13.5%	5	13.6%	7
⑯	市民の環境に対する意識	13.4%	6	13.2%	10



(3) 環境保全推進のために、甲賀市が取り組むべき施策

「問 9」 環境保全を推進するために、今後甲賀市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。  
(〇はいくつでも)

前回の調査と比較すると、総じて変化はみられない。

■環境保全推進のために、甲賀市が取り組むべき施策（複数回答）

	どのサイ クル活 動の支 援	リサイ クル活 動の支 援	環境を 守るた めの規 制や罰 則	環境に 配慮し た商品 の普及 や	野生動 植物の 保護	森林や 河川な どの自 然環境 の	ごみの 減量化 やリサ イクル への	自然エ ネルギー 導入促 進	公共交 通機関 の利用 促進	次世代 型自動 車（ハイ ブリッ ツ）の 普及	学校に おける 環境学 習の充 実	環境に 関する 情報提 供の充 実	その他	不明・無 回答
R5調査(N=1,260)	41.8	21.5	24.8	32.7	19.8	47.3	43.1	20.2	41.3	19.6	35.1	28.1	3.9	4.9
R2調査(N=1,367)	42.9	24.7	34.2	37.3	25.2	52.2	45.9	24.4	40.0	23.2	38.8	29.6	3.9	5.4

●全体で見ると、「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が47.3%で最も多くなっており、以下、「ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」が43.1%、「リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援」が41.8%と続いている。

●性別にみると、男性は「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が、女性は「ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」が最も多くなっている。次いで、男性は「公共交通機関の利用促進」が、女性は「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が多くなっている。

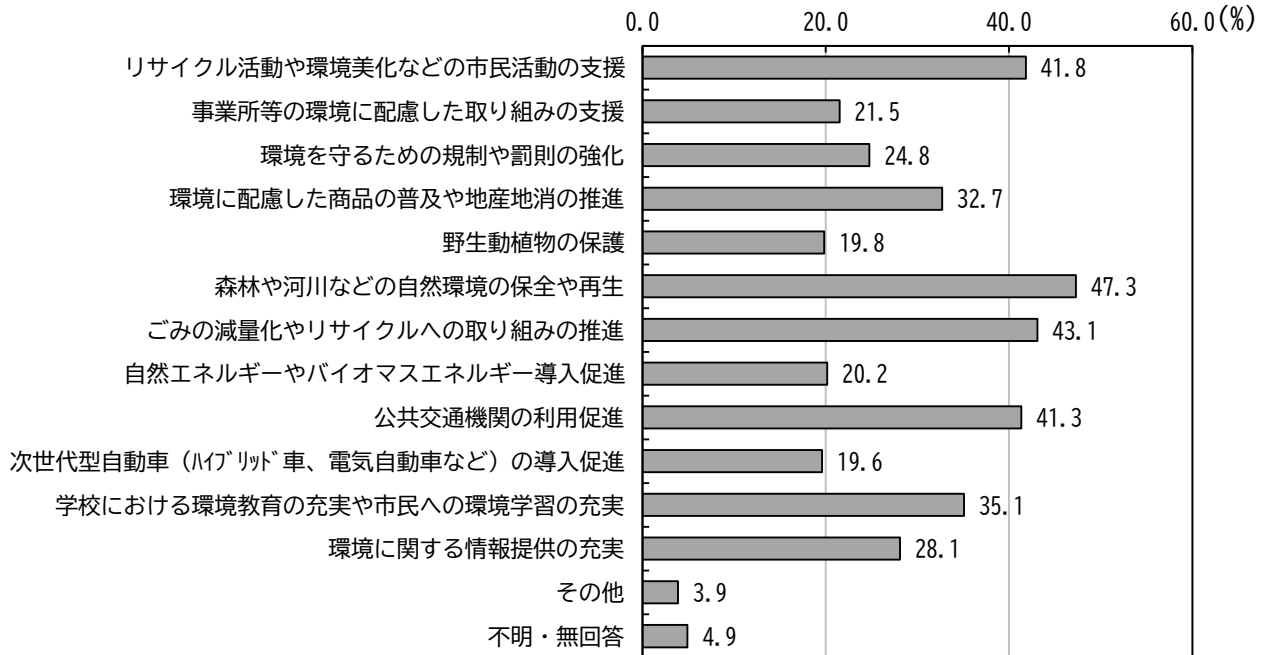
●年代別にみると、20歳代以下、30歳代は「学校における環境教育の充実や市民への環境学習の充実」が、他の年代では「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が最も多くなっている。

●居住地域別にみると、水口地域は「ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」が、甲南地域は「公共交通機関の利用促進」が、他の地域では「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が最も多くなっている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「森林や河川などの自然環境の保全や再生」が最も多くなっている。

■環境保全推進のために、甲賀市が取り組むべき施策  
(複数回答)

□全体(N=1,260)



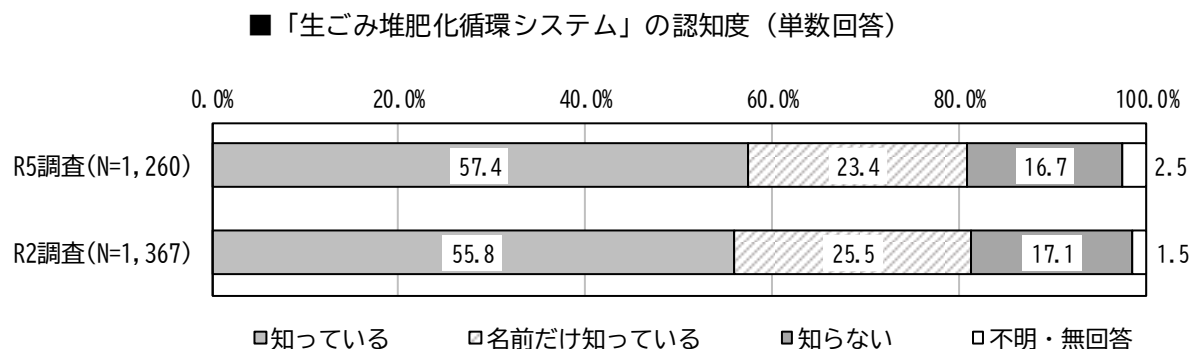
	どりの市民活動や環境美化な	り事業所等の環境に配慮した取	の環境を守るための規制や罰則	地産地消の推進	野生動植物の保護	森林や河川などの自然環境の	ごみの減量化やリサイクルへ	自然エネルギーやバイオマス	公共交通機関の利用促進	次世代型自動車（ハイブリッド車、電気自動車など）の導入促進	学校における環境教育の充実	環境に関する情報提供の充実	その他	不明・無回答
全体(N=1,260)	41.8	21.5	24.8	32.7	19.8	47.3	43.1	20.2	41.3	19.6	35.1	28.1	3.9	4.9
男(N=547)	42.8	25.6	27.2	30.7	16.5	50.1	39.5	23.2	43.3	23.6	37.8	27.8	5.1	3.8
女(N=669)	41.0	18.1	22.3	34.4	22.0	44.8	45.9	17.3	39.2	16.4	33.0	28.0	3.0	5.7
20歳代以下(N=107)	32.7	16.8	17.8	20.6	24.3	35.5	28.0	11.2	32.7	15.0	41.1	24.3	1.9	3.7
30歳代(N=100)	38.0	37.0	23.0	36.0	23.0	44.0	40.0	28.0	30.0	24.0	45.0	21.0	2.0	3.0
40歳代(N=144)	36.1	20.1	19.4	34.0	14.6	46.5	39.6	29.9	31.9	23.6	40.3	25.0	6.3	1.4
50歳代(N=197)	36.5	23.9	13.2	34.0	20.3	43.1	41.1	20.8	42.6	22.3	27.4	22.8	3.6	3.6
60歳代(N=245)	42.9	19.6	30.6	32.7	17.6	51.0	43.7	18.4	38.4	17.6	31.8	33.9	2.4	4.9
70歳以上(N=452)	48.2	19.5	30.1	34.1	20.8	51.1	49.1	17.5	50.2	18.1	35.2	30.8	4.9	6.9
水口地域(N=536)	42.5	22.4	24.6	30.8	18.1	44.0	44.4	20.1	41.6	18.5	37.1	25.4	3.4	5.0
土山地域(N=99)	44.4	21.2	20.2	36.4	21.2	50.5	39.4	18.2	39.4	20.2	25.3	35.4	1.0	7.1
甲賀地域(N=156)	32.1	18.6	25.6	35.3	19.2	48.7	37.8	19.2	30.1	16.7	35.3	31.4	4.5	3.8
甲南地域(N=306)	45.4	19.0	25.2	33.3	20.6	45.4	44.8	20.9	47.4	21.2	35.0	29.1	5.2	4.2
信楽地域(N=151)	41.1	27.2	25.2	33.1	24.5	59.6	43.7	19.9	41.1	21.9	34.4	27.8	4.6	4.0
3年未満(N=34)	26.5	23.5	14.7	17.6	26.5	47.1	35.3	14.7	26.5	20.6	32.4	23.5	2.9	0.0
3年～10年未満(N=87)	31.0	27.6	18.4	34.5	18.4	44.8	29.9	25.3	40.2	18.4	35.6	25.3	3.4	3.4
10年以上(N=1,127)	43.2	21.0	25.4	33.0	19.8	47.5	44.5	19.7	41.9	19.5	35.0	28.4	4.0	5.1

※「10年以上」は、「転入後の居住年数10年以上」と「生まれてからずっと甲賀市に住んでいる」の合計。  
以下の図表すべてにおいて同様。

#### (4) 「生ごみ堆肥化循環システム」の認知状況

「問 10」 あなたは、「生ごみ堆肥化循環システム」という取り組みをご存じですか(○は1つ)

前回の調査と比較すると、「知っている」の割合が増加している。



●全体で見ると、「知っている」が 57.4%で最も多くなっており、以下、「名前だけ知っている」が 23.4%、「知らない」が 16.7%となっている。「知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『認知している』の割合は 80.8%となっている。

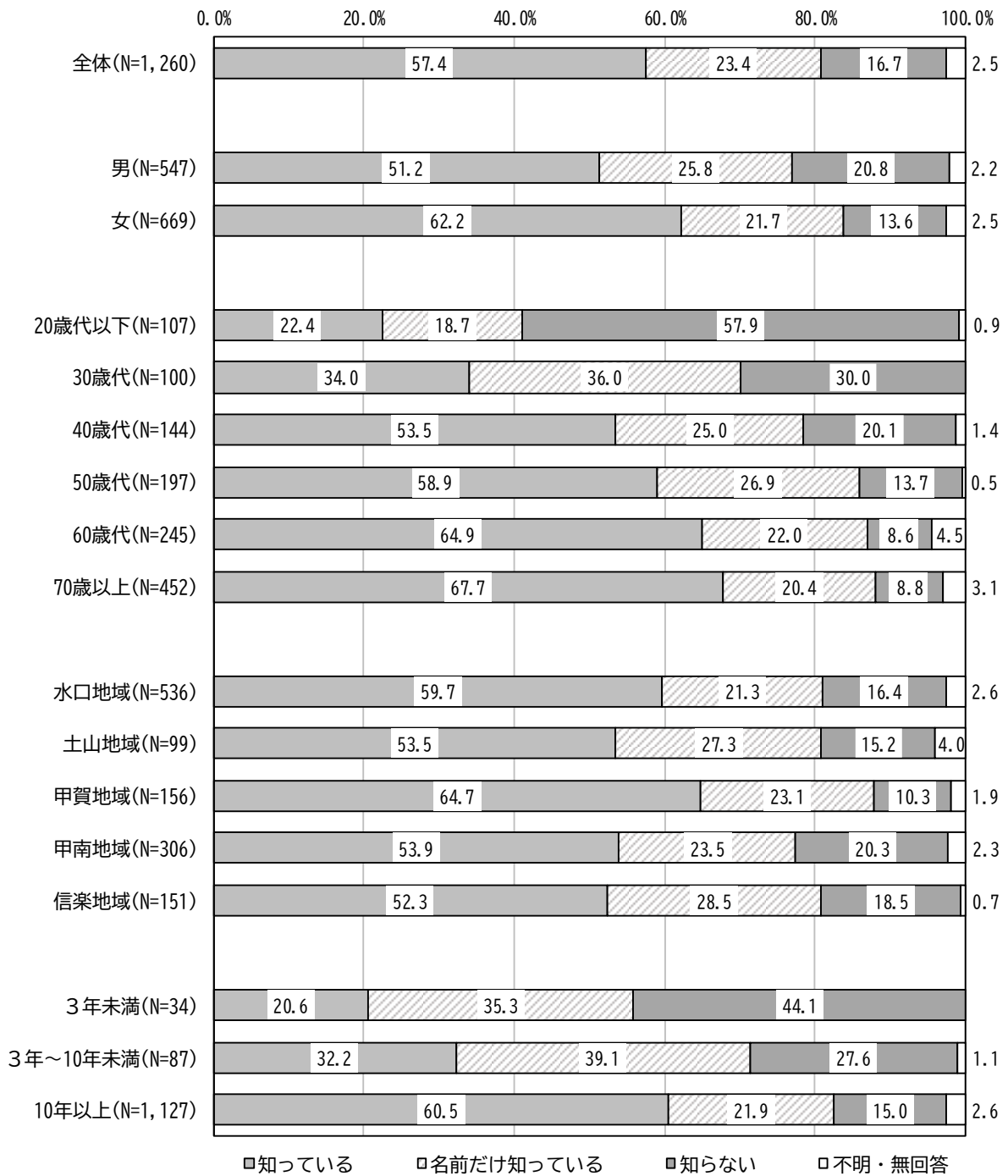
●性別にみると、男性、女性ともに「知っている」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、男性は 77.0%、女性は 83.9%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「知らない」が、30 歳代は「名前だけ知っている」が、他の年代では「知っている」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 88.1%、以下、60 歳代で 86.9%、50 歳代で 85.8%と続いており、年代が高くなるにつれて多くなっている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「知っている」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 87.8%、以下、水口地域で 81.0%、土山地域、信楽地域で 80.8%、甲南地域で 77.4%と続いている。

●居住年数別にみると、10 年以上は「知っている」が、3 年～10 年未満は「名前だけ知っている」が、3 年未満は「知らない」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 82.4%、以下、3 年～10 年未満で 71.3%、3 年未満で 55.9%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

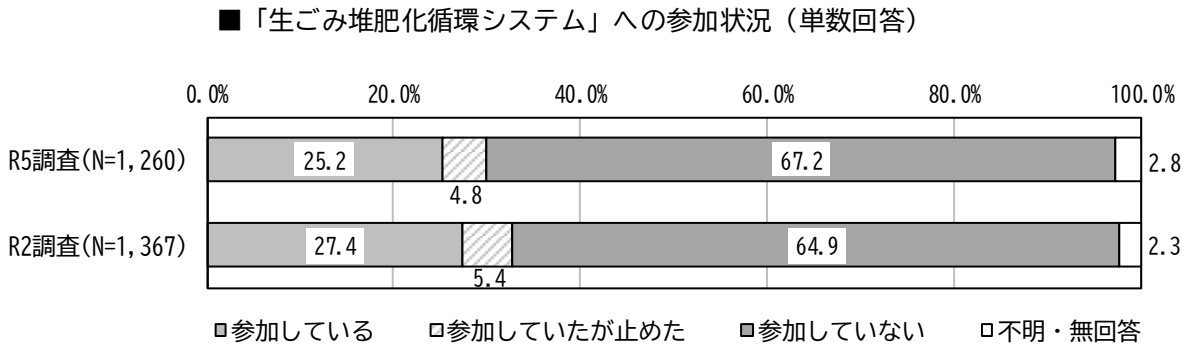
■「生ごみ堆肥化循環システム」の認知度（単数回答）



(5) 「生ごみ堆肥化循環システム」への参加状況

「問 11」 あなたは、「生ごみ堆肥化循環システム」に参加されていますか。(○は1つ)

前回の調査と比較すると、「参加している」「参加していたが止めた」の割合が減少し、「参加していない」の割合が増加している。



●全体で見ると、「参加していない」が 67.2%で最も多くなっており、以下、「参加している」が 25.2%、「参加していたが止めた」が 4.8%と続いている。

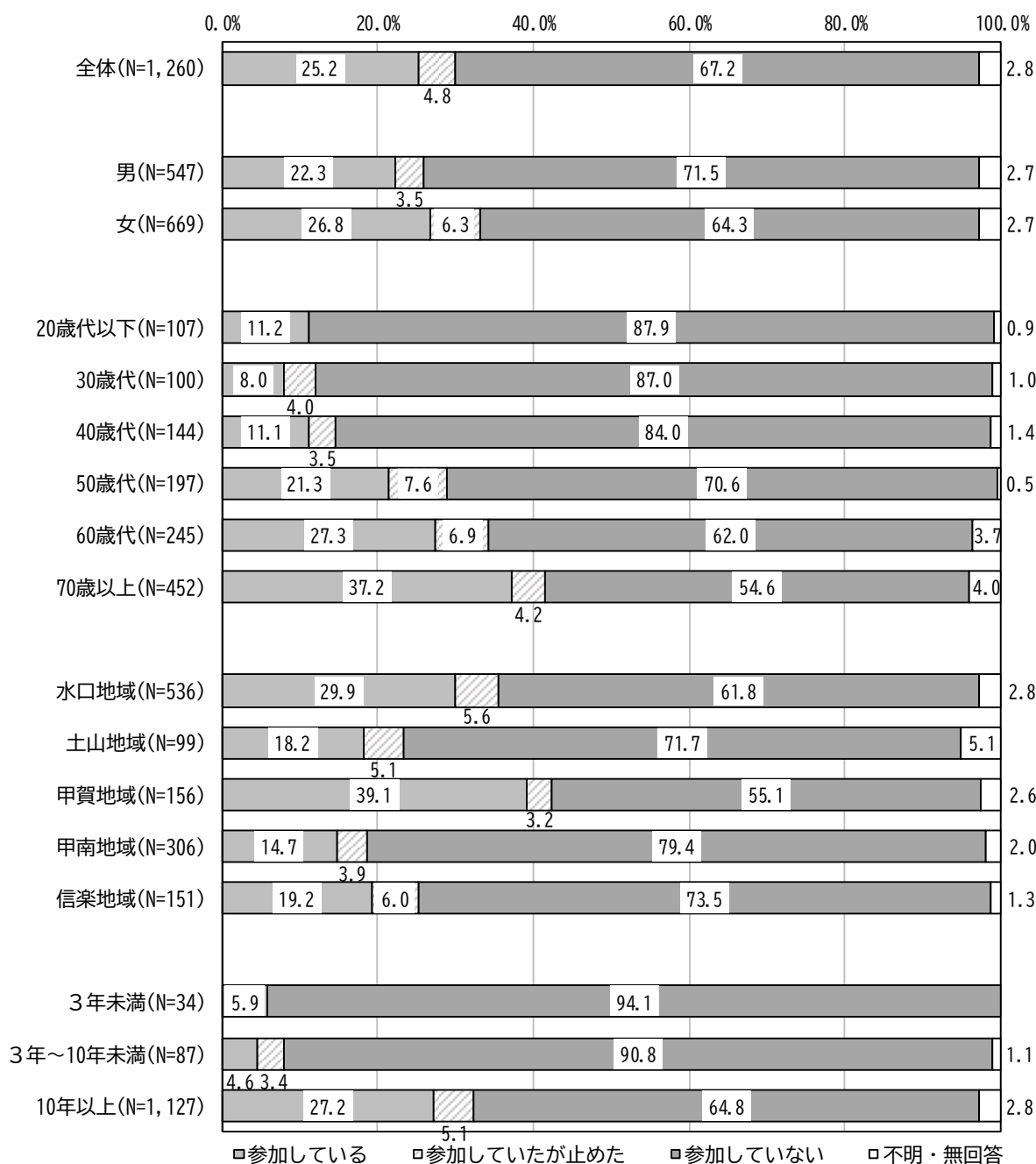
●性別にみると、男性、女性ともに「参加していない」が最も多くなっている。「参加している」の割合をみると、男性は 22.3%、女性は 26.8%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「参加していない」が最も多くなっている。「参加している」の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 37.2%、以下、60 歳代で 27.3%、50 歳代で 21.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「参加していない」が最も多くなっている。「参加している」の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 39.1%、以下、水口地域で 29.9%、信楽地域で 19.2%、土山地域で 18.2%、甲南地域で 14.7%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「参加していない」が最も多くなっている。「参加している」の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 27.2%、以下、3 年未満で 5.9%、3 年～10 年未満で 4.6%と続いている。

■ 「生ごみ堆肥化循環システム」への参加状況（単数回答）

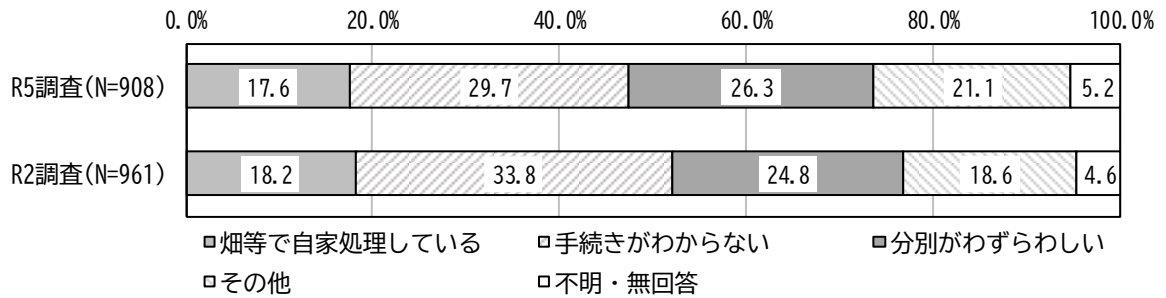


(6) 「生ごみ堆肥化循環システム」に参加していない理由

「問11-1」 問11で「参加していたが止めた」「参加していない」のいずれかに回答された方におたずねします。あなたが参加されていないのはどのような理由からですか。(○は1つ)

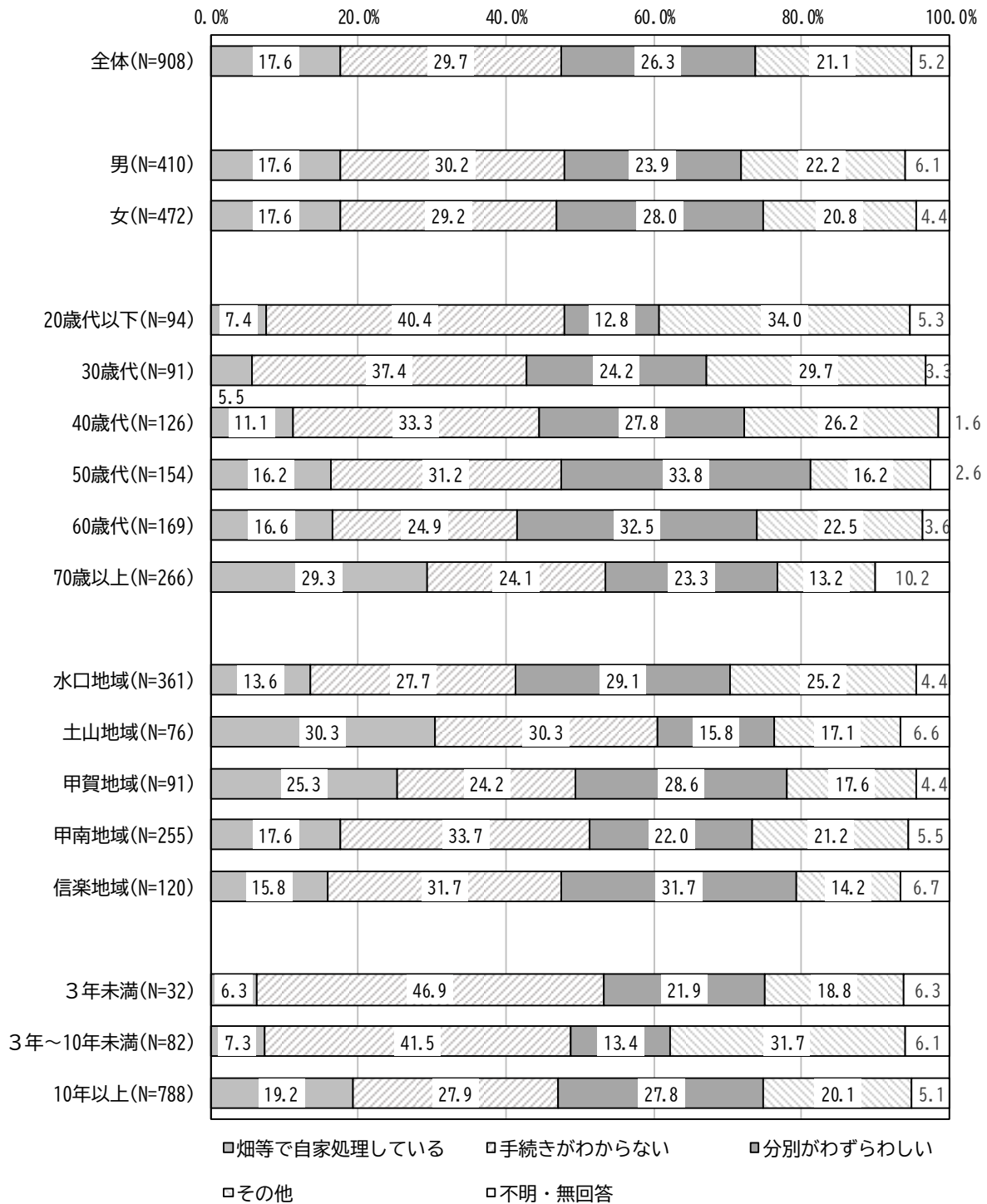
前回の調査と比較すると、「分別がわずらわしい」「その他」の割合が増加し、「畑等で自家処理している」「手続きがわからない」の割合が減少している。

■ 「生ごみ堆肥化循環システム」に参加されていない理由 (単数回答)



- 全体で見ると、「手続きがわからない」が29.7%で最も多くなっており、以下、「分別がわずらわしい」が26.3%、「その他」が21.1%、「畑等で自家処理している」が17.6%と続いている。なお「その他」では、“生ゴミの量が減ったこと”、“持ち運び”に関する意見などがみられた。
- 性別にみると、男性、女性ともに「手続きがわからない」が最も多くなっており、次いで、「分別がわずらわしい」が多くなっている。
- 年代別にみると、70歳以上は「畑等で自家処理している」が、50歳代、60歳代は「分別がわずらわしい」が、他の年代では「手続きがわからない」が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、水口地域、甲賀地域は「分別がわずらわしい」が、他の地域では「手続きがわからない」が最も多くなっている(土山地域は「畑等で自家処理している」、信楽地域は「分別がわずらわしい」と同率)。
- 居住年数別にみると、すべての年数において「手続きがわからない」が最も多くなっている。

■ 「生ごみ堆肥化循環システム」に参加されていない理由（単数回答）



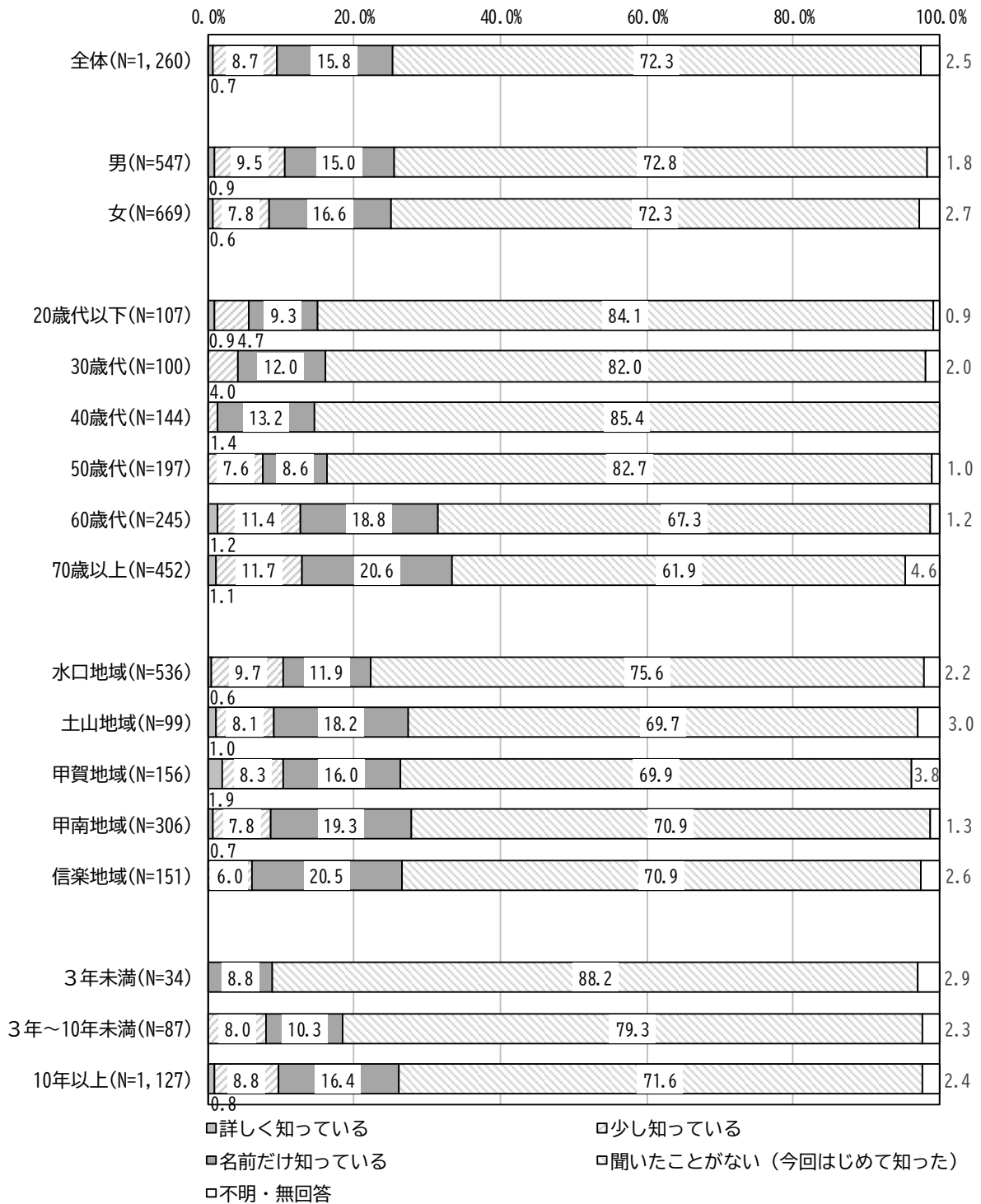


## (7) 『デコ活』の認知状況

「問 12」市では誰もがよりよい環境を意識した行動ができるまちを目指すため、デコ活を推進しています。あなたは、『デコ活』をご存じですか。(○は1つ)

- 全体で見ると、「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が 72.3%で最も多くなっており、以下、「名前だけ知っている」が 15.8%、「少し知っている」が 8.7%、「詳しく知っている」が 0.7%と続いている。「詳しく知っている」と「少し知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『認知している』の割合は 25.2%となっている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、男性は 25.4%、女性は 25.0%となっている。
- 年代別にみると、すべての年代において「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 33.4%、以下、60 歳代で 31.4%、50 歳代で 16.2%と続いている。
- 居住地域別にみると、すべての地域において「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 27.8%、以下、土山地域で 27.3%、信楽地域で 26.5%、甲賀地域で 26.2%、水口地域で 22.2%と続いている。
- 居住年数別にみると、すべての年数において「聞いたことがない(今回はじめて知った)」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 26.0%、以下、3 年～10 年未満で 18.3%、3 年未満で 8.8%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

■『デコ活』の認知度（単数回答）

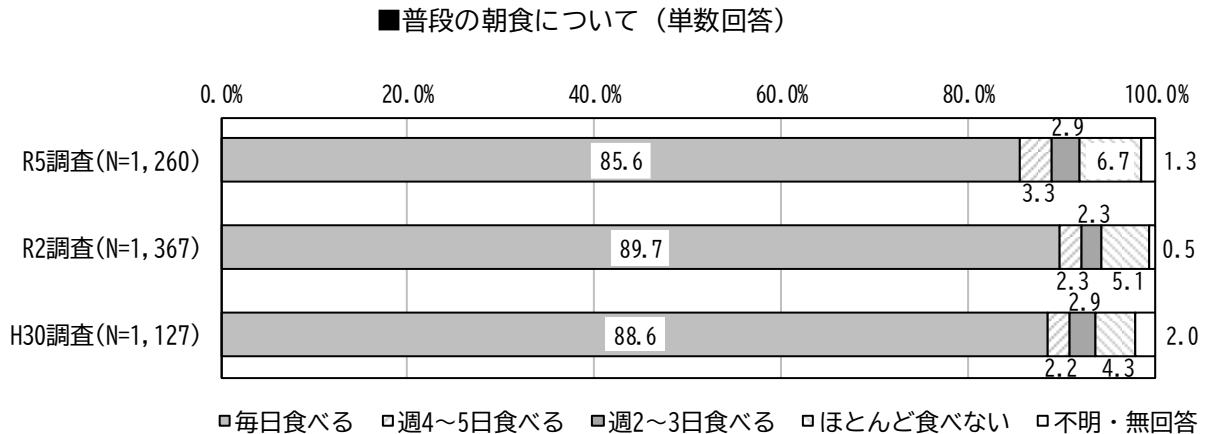


## 2 健康について

### (1) 朝食の摂取状況

「問 13」 あなたは、普段朝食を食べていますか。(○は1つ)

前回の調査と比較すると、「毎日食べる」の割合が減少し、「ほとんど食べない」の割合が増加している。



●全体で見ると、「毎日食べる」が 85.6%で最も多くなっており、以下、「ほとんど食べない」が 6.7%、「週 4~5 日食べる」が 3.3%、「週 2~3 日食べる」が 2.9%と続いている。「毎日食べる」と「週 4~5 日食べる」を合わせた『週 4 日以上食べる』の割合は 88.9%となっている。

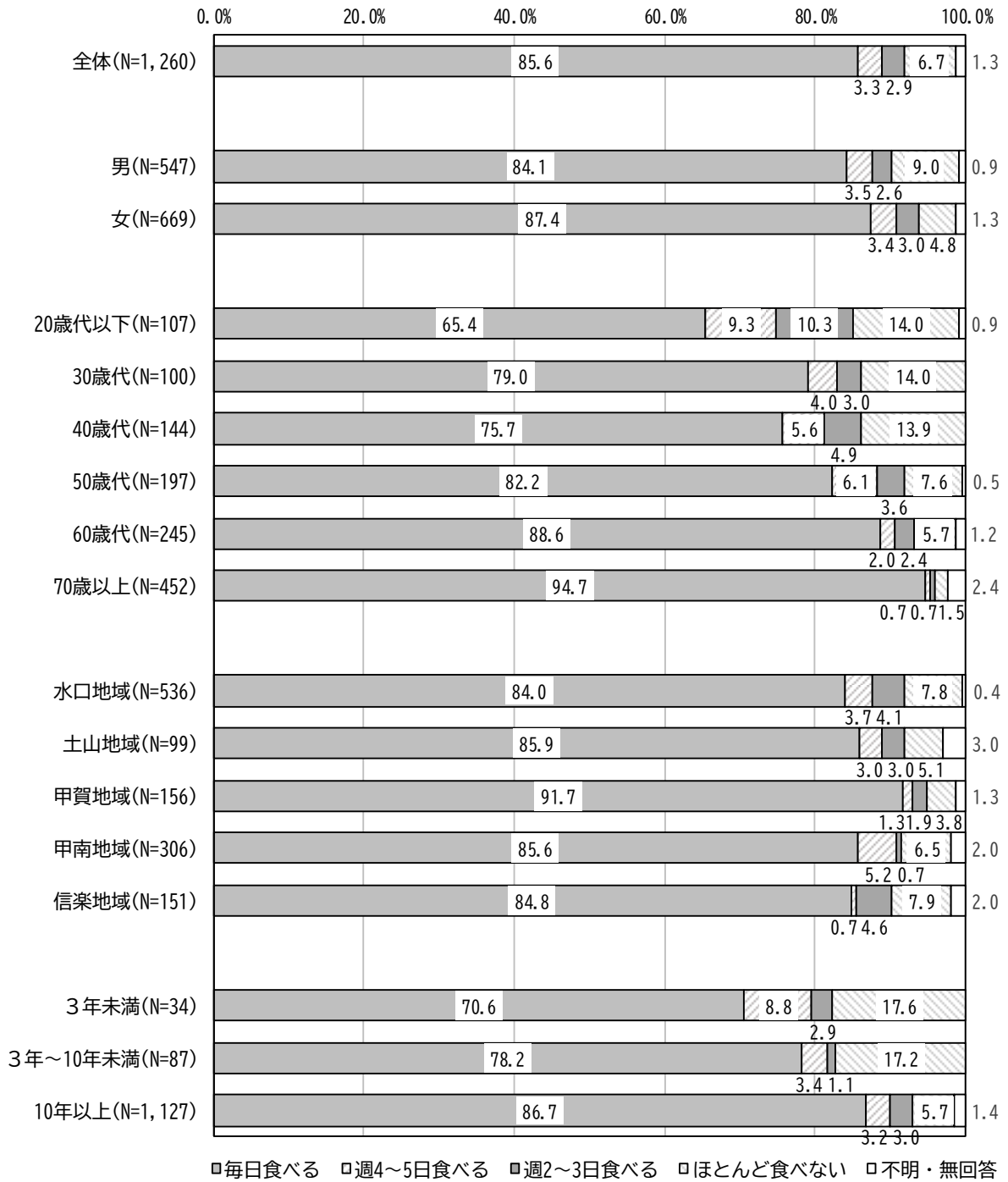
●性別にみると、男性、女性ともに「毎日食べる」が最も多くなっている。『週 4 日以上食べる』の割合をみると、男性が 87.6%、女性が 90.8%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「毎日食べる」が最も多くなっている。『週 4 日以上食べる』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 95.4%、以下、60 歳代で 90.6%、50 歳代で 88.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「毎日食べる」が最も多くなっている。『週 4 日以上食べる』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 93.0%、以下、甲南地域で 90.8%、土山地域で 88.9%、水口地域で 87.7%、信楽地域で 85.5%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「毎日食べる」が最も多くなっている。『週 4 日以上食べる』の割合をみると、最も多いのは10年以上で 89.9%、以下、3 年~10 年未満で 81.6%、3 年未満で 79.4%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

■ 普段の朝食について（単数回答）

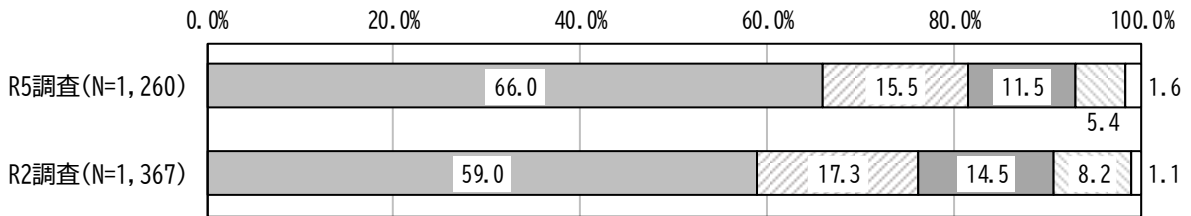


(2) 主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を一日2回以上とる日について

《問14》 主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を一日2回以上とる日が、週に何日ありますか。  
(○は1つ)

前回の調査と比較すると、「毎日食べる」の割合が増加している。

■主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を一日2回以上とる日について（単数回答）



□毎日食べる □週4~5日食べる □週2~3日食べる □ほとんど食べない □不明・無回答

※R2調査では「ほとんど毎日食べる」を選択肢としていましたが、R5調査では「毎日食べる」に変更しています。

●全体で見ると、「毎日食べる」が66.0%で最も多くなっており、以下、「週4~5日食べる」が15.5%、「週2~3日食べる」が11.5%、「ほとんど食べない」が5.4%と続いている。「毎日食べる」と「週4~5日食べる」を合わせた『週4日以上食べる』の割合は81.5%となっている。

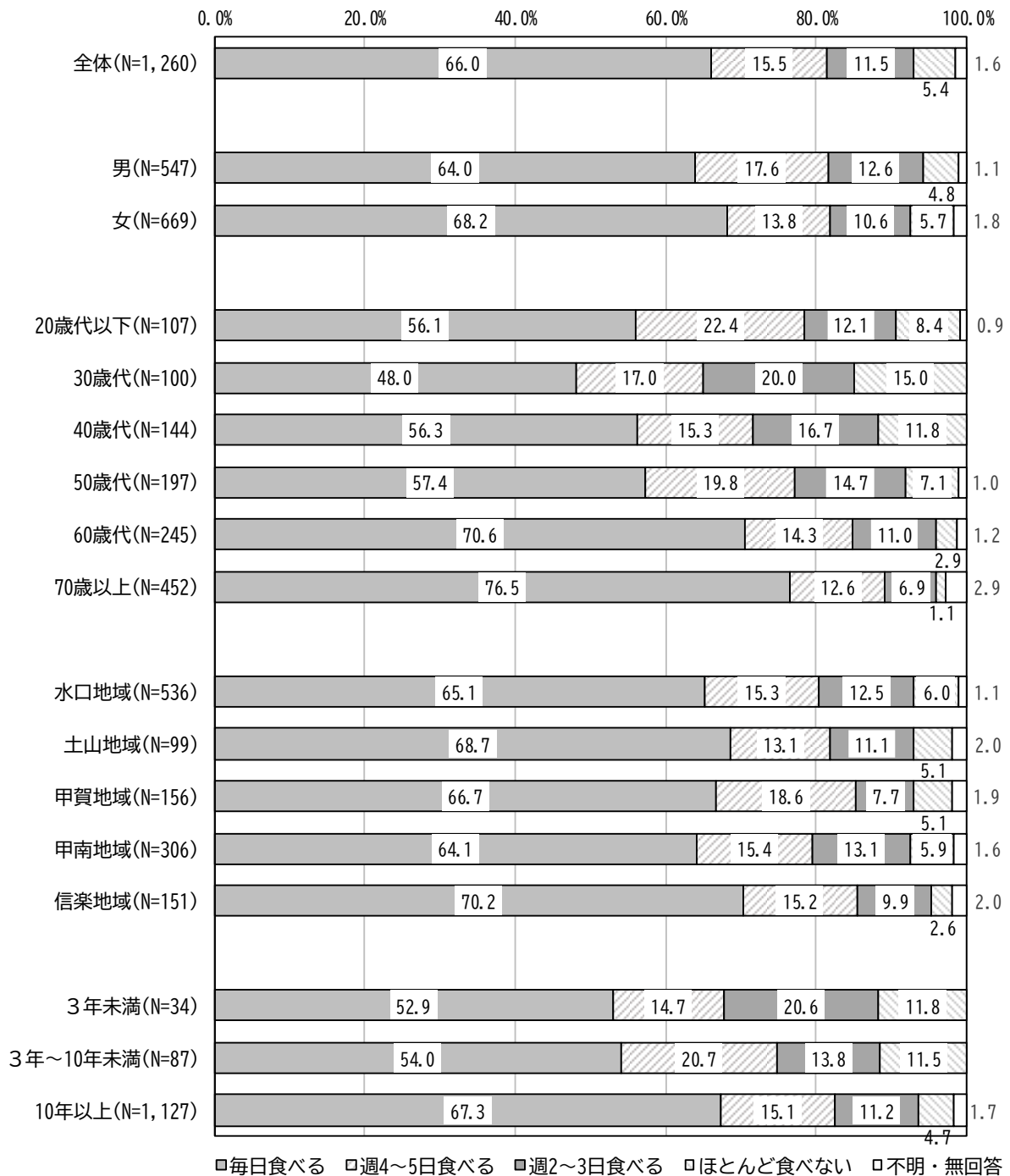
●性別にみると、男性、女性ともに「毎日食べる」が最も多くなっている。『週4日以上食べる』の割合をみると、男性が81.6%、女性が82.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「毎日食べる」が最も多くなっている。『週4日以上食べる』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で89.1%、以下、60歳代で84.9%、20歳代以下で78.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「毎日食べる」が最も多くなっている。『週4日以上食べる』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で85.4%、以下、甲賀地域で85.3%、土山地域で81.8%、水口地域で80.4%、甲南地域で79.5%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「毎日食べる」が最も多くなっている。『週4日以上食べる』の割合をみると、最も多いのは10年以上で82.4%、以下、3年~10年未満で74.7%、3年未満で67.6%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

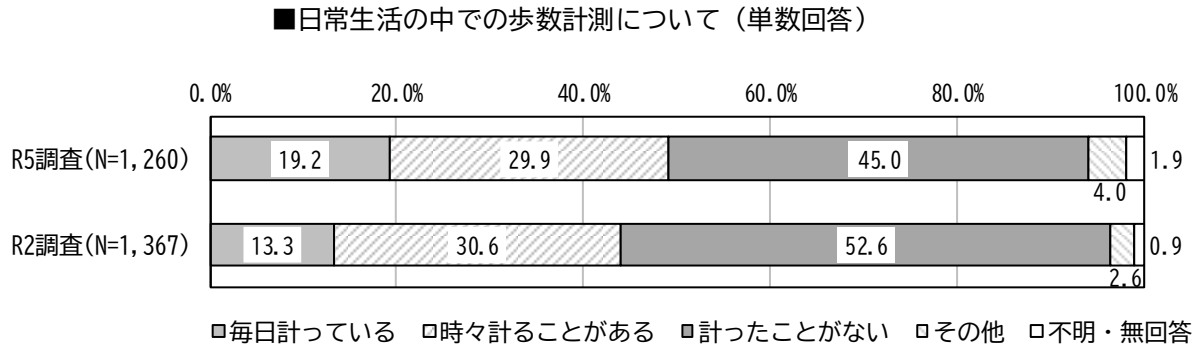
■主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を一日2回以上とる日について（単数回答）



(3) 日常生活の中での歩数計測について

「問 15」 あなたは日常生活の中で歩数を計ることがありますか。(○は1つ)

前回の調査と比較すると、「毎日計っている」の割合が増加している。



●全体で見ると、「計ったことがない」が45.0%で最も多くなっており、以下、「時々計ることがある」が29.9%、「毎日計っている」が19.2%と続いている。「毎日計っている」と「時々計ることがある」を合わせた『計る』の割合は49.1%となっている。

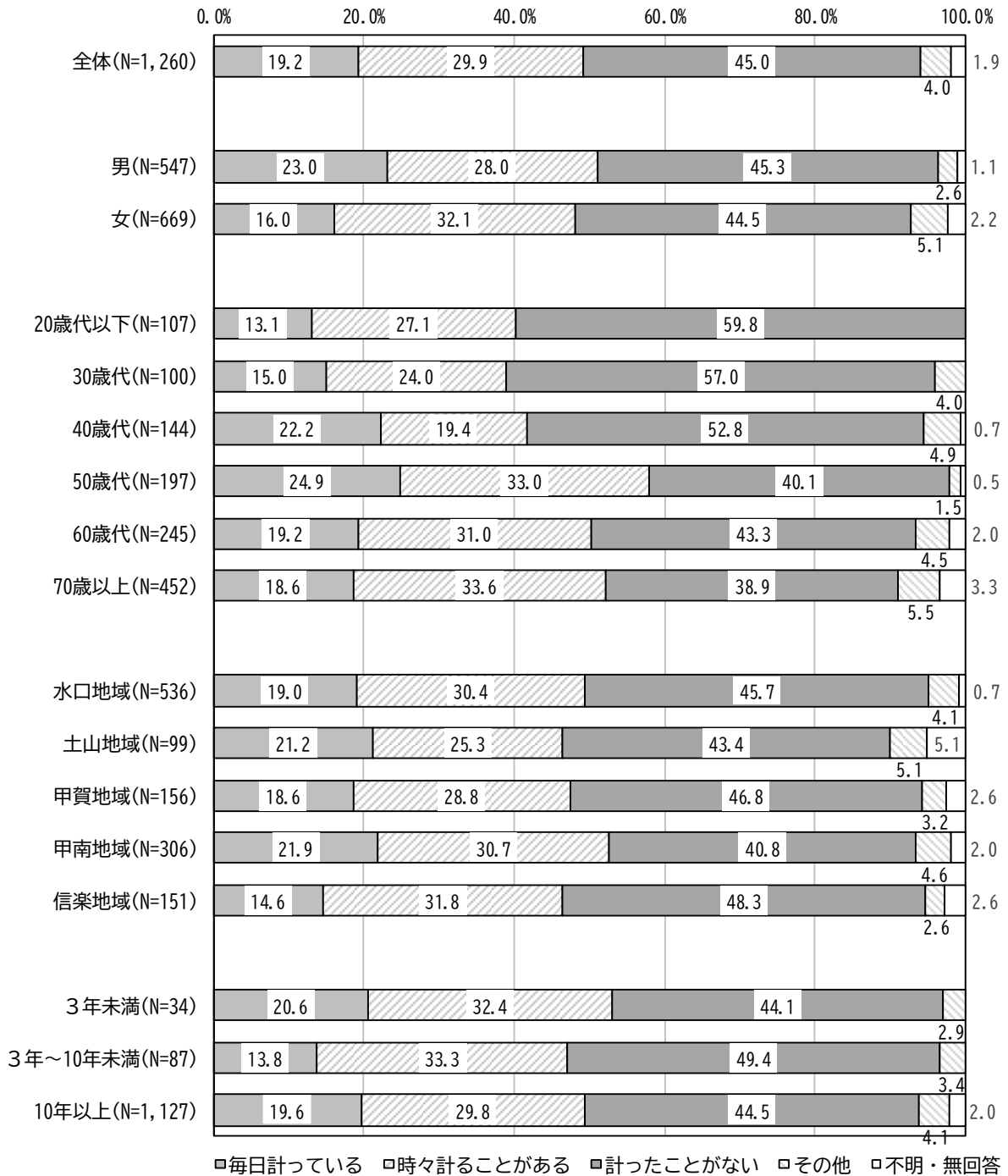
●性別にみると、男性、女性ともに「計ったことがない」が最も多くなっている。『計る』の割合をみると、男性が51.0%、女性が48.1%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「計ったことがない」が最も多くなっている。『計る』の割合をみると、最も多いのは50歳代で57.9%、以下、70歳以上で52.2%、60歳代で50.2%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「計ったことがない」が最も多くなっている。『計る』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で52.6%、以下、水口地域で49.4%、甲賀地域で47.4%、土山地域で46.5%、信楽地域で46.4%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「計ったことがない」が最も多くなっている。『計る』の割合をみると、最も多いのは3年未満で53.0%、以下、10年以上で49.4%、3年～10年未満で47.1%と続いている。

■日常生活の中での歩数計測について（単数回答）





《問 15-1》 問 15 で「毎日計っている」「時々計ることがある」のいずれかに回答された方におたずねします。あなたの一日の歩数は平均してどのくらいですか。(〇は1つ)

前回の調査と比較すると、『6,000 歩以上』の割合が増加している。

■一日の平均歩数について（単数回答）

	6,000 歩未満	6,000 歩～8,000 歩	8,000 歩～10,000 歩	10,000 歩以上	その他	不明・無回答
R5調査(N=619)	52.3	27.1	10.7	7.8	1.0	1.1
R2調査(N=600)	71.7	19.3		6.2	0.8	2.0

※R2調査では「1,000歩未満」「1,000歩以上～3,000歩未満」「3,000歩以上～6,000歩未満」「6,000歩以上～10,000歩未満」を選択肢としていましたが、R5調査では「6,000歩未満」「6,000歩～8,000歩」「8,000歩～10,000歩」に変更しています。

- 全体で見ると、「6,000 歩未満」が 52.3%で最も多くなっており、以下、「6,000 歩～8,000 歩」が 27.1%、「8,000 歩～10,000 歩」が10.7%、「10,000 歩以上」が7.8%と続いている。「6,000 歩～8,000 歩」と「8,000 歩～10,000 歩」と「10,000 歩以上」を合わせた『6,000 歩以上』の割合は 45.6%となっている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「6,000 歩未満」が最も多くなっている。『6,000 歩以上』の割合をみると、男性が 57.3%、女性が 36.6%となっている。
- 年代別にみると、すべての年代において「6,000 歩未満」が最も多くなっている。『6,000 歩以上』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 65.1%、以下、40 歳代で 56.7%、30 歳代で 53.9%と続いている。
- 居住地域別にみると、すべての地域において「6,000 歩未満」が最も多くなっている。『6,000 歩以上』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 56.4%、以下、信楽地域で 50.0%、水口地域で 47.5%、甲南地域で 42.3%、甲賀地域で 36.5%と続いている。
- 居住年数別にみると、すべての年数において「6,000 歩未満」が最も多くなっている。『6,000 歩以上』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 61.1%、以下、3 年～10 年未満で 48.8%、10 年以上で 45.0%と続いており、年数が短くなるにつれて多くなっている。

■一日の平均歩数について（単数回答）

	6 ， 0 0 0 歩 未 満	6 ， 0 0 0 歩 ～ 8 ， 0 0 0 歩	8 ， 0 0 0 歩 ～ 1 0 ， 0 0 0 歩	1 0 ， 0 0 0 歩 以 上	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(N=619)	52.3	27.1	10.7	7.8	1.0	1.1
男(N=279)	40.1	32.3	12.5	12.5	0.7	1.8
女(N=322)	61.5	23.9	9.3	3.4	1.2	0.6
20歳代以下(N=43)	34.9	30.2	14.0	20.9	0.0	0.0
30歳代(N=39)	46.2	23.1	23.1	7.7	0.0	0.0
40歳代(N=60)	41.7	26.7	16.7	13.3	0.0	1.7
50歳代(N=114)	47.4	24.6	15.8	9.6	0.9	1.8
60歳代(N=123)	47.2	31.7	10.6	8.9	0.8	0.8
70歳以上(N=236)	64.4	25.8	4.2	2.5	1.7	1.3
水口地域(N=265)	50.2	28.7	11.3	7.5	1.1	1.1
土山地域(N=46)	43.5	39.1	4.3	13.0	0.0	0.0
甲賀地域(N=74)	63.5	18.9	9.5	8.1	0.0	0.0
甲南地域(N=161)	53.4	23.0	11.8	7.5	1.9	2.5
信楽地域(N=70)	50.0	32.9	11.4	5.7	0.0	0.0
3年未満(N=18)	38.9	33.3	22.2	5.6	0.0	0.0
3年～10年未満(N=41)	48.8	19.5	17.1	12.2	2.4	0.0
10年以上(N=557)	52.8	27.6	9.9	7.5	0.9	1.3

#### (4) スポーツ・趣味・ボランティア活動等を通じての人と交流する機会

「問 16」 あなたは、スポーツ・趣味・ボランティア活動等を通じて、人と交流する機会がありますか。  
(○は1つ)

●全体で見ると、「ある」が 30.8%で最も多くなっており、以下、「ない」が 28.4%、「あまりない」が 20.1%、「時々ある」が 19.0%と続いている。「ある」と「時々ある」を合わせた『機会あり』の割合は 49.8%となっている。

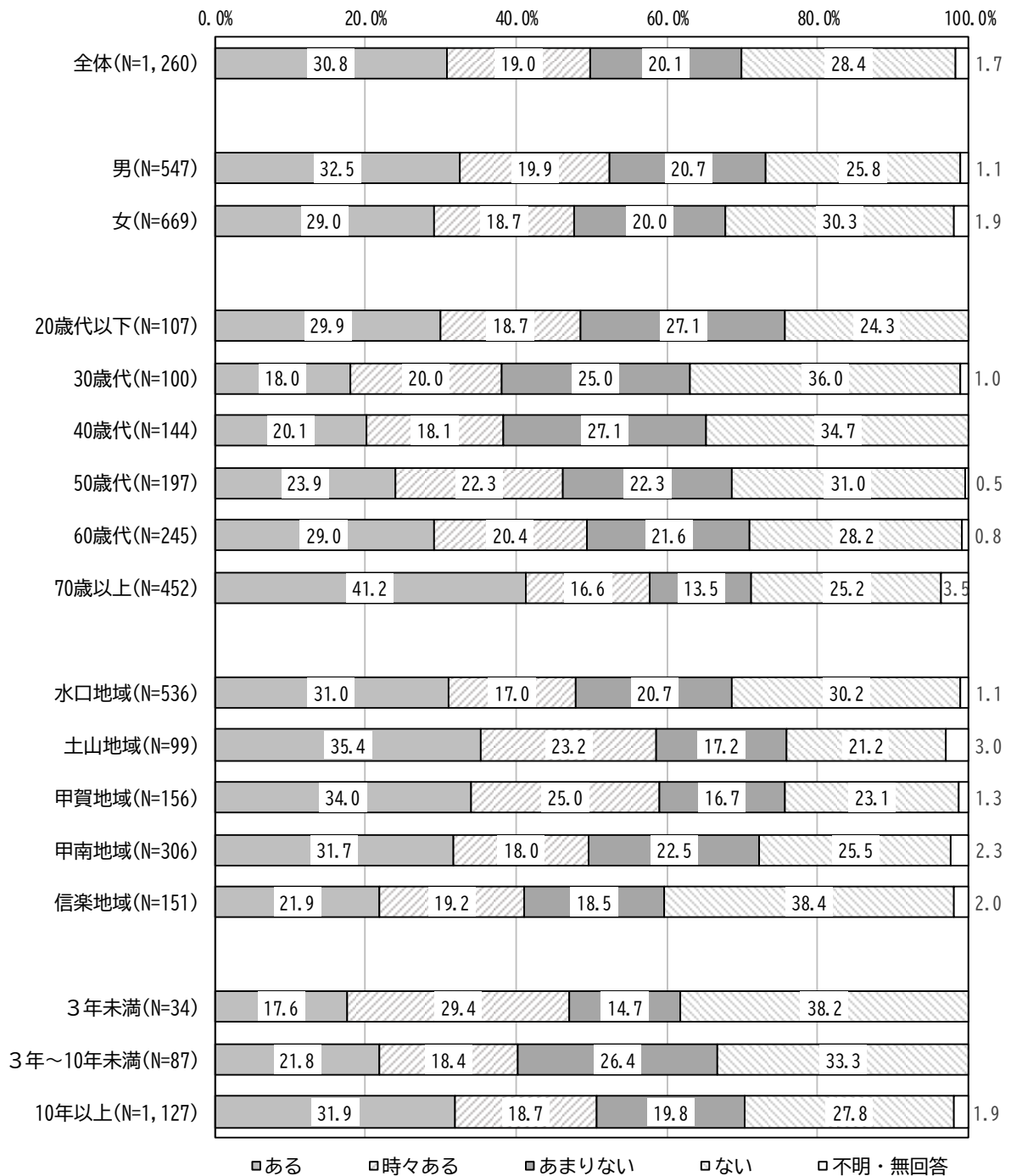
●性別にみると、男性は「ある」が、女性は「ない」が最も多くなっている。『機会あり』の割合をみると、男性が 52.4%、女性が 47.7%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下、60 歳代、70 歳以上は「ある」が、他の年代では「ない」が最も多くなっている。『機会あり』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 57.8%、以下、60 歳代で 49.4%、20 歳代以下で 48.6%と続いている。

●居住地域別にみると、信楽地域は「ない」が、他の地域では「ある」が最も多くなっている。『機会あり』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 59.0%、以下、土山地域で 58.6%、甲南地域で 49.7%、水口地域で 48.0%、信楽地域で 41.1%と続いている。

●居住年数別にみると、10年以上は「ある」が、他の年数では「ない」が最も多くなっている。『機会あり』の割合をみると、最も多いのは10年以上で 50.6%、以下、3 年未満で 47.0%、3 年～10 年未満で 40.2%と続いている。

■スポーツ・趣味・ボランティア活動等を通じての人と交流する機会（単数回答）

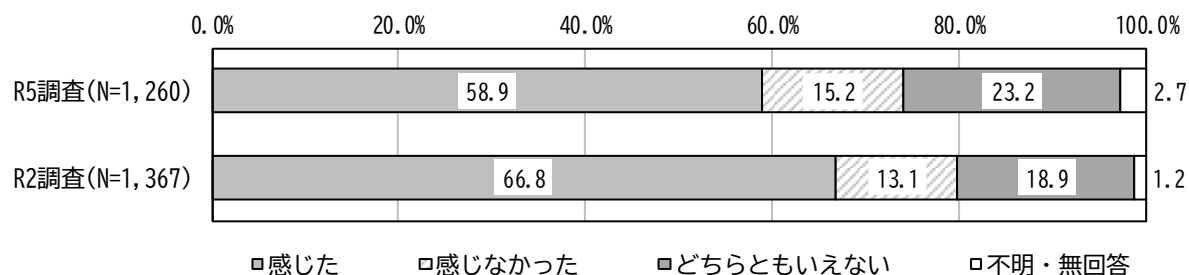


(5) 最近1か月間のストレスについて

「問 17」 あなたは、最近1か月間に、ストレスを感じましたか。(○は1つ)

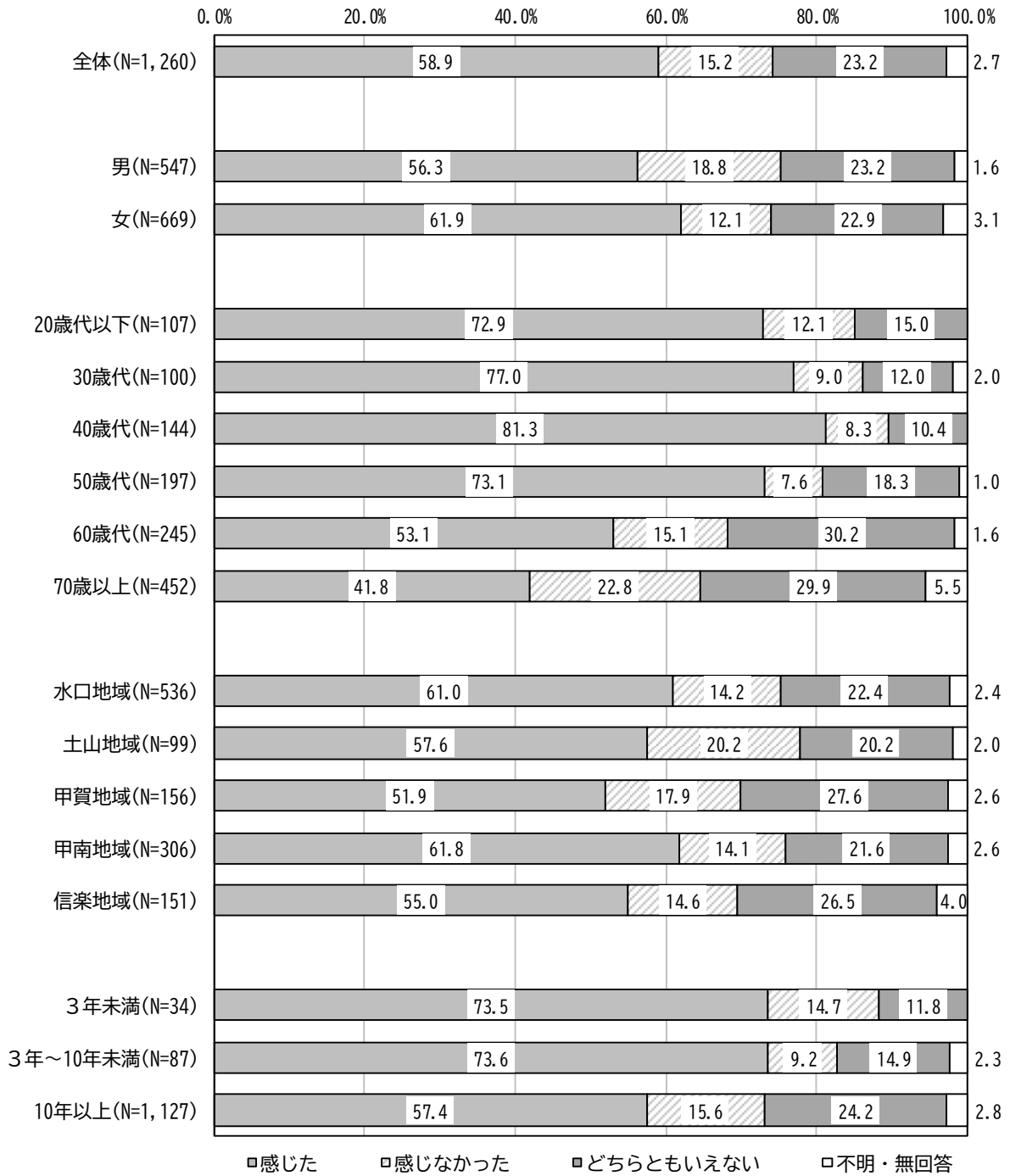
前回の調査と比較すると、「感じた」の割合が減少している。

■最近1か月間のストレスについて（単数回答）



- 全体で見ると、「感じた」が 58.9%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 23.2%、「感じなかった」が 15.2%と続いている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「感じた」が最も多くなっている。「感じた」の割合をみると、男性が 56.3%、女性が 61.9%となっている。
- 年代別にみると、すべての年代において「感じた」が最も多くなっている。「感じた」の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 81.3%、以下、30 歳代で 77.0%、50 歳代で 73.1%と続いている。
- 居住地域別にみると、すべての地域において「感じた」が最も多くなっている。「感じた」の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 61.8%、以下、水口地域で 61.0%、土山地域で 57.6%、信楽地域で 55.0%、甲賀地域で 51.9%と続いている。
- 居住年数別にみると、すべての年数において「感じた」が最も多くなっている。「感じた」の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 73.6%、以下、3 年未満で 73.5%、10年以上で 57.4%と続いている。

■最近1か月間のストレスについて（単数回答）



(6) 最近3か月間の睡眠について

「問 18」 あなたは、最近3か月間で睡眠について、次のようなことがありましたか。  
(〇いくつでも)

前回の調査と比較すると、「夜中に目が覚める」「朝早く目が覚める」「目覚めが悪い」「特別なことはない」の割合が増加している。

■最近3か月間の睡眠について（複数回答）

	寝つきが悪い	夜中に目が覚める	朝早く目が覚める	目覚めが悪い	睡眠薬、精神安定剤やアルコールを使用する	特別なことはない	その他	不明・無回答
R5調査(N=1,260)	21.9	46.7	24.4	12.7	8.1	31.5	0.9	2.1
R2調査(N=1,367)	23.1	45.1	23.9	10.2	8.6	28.5	2.7	1.8

●全体でみると、「夜中に目が覚める」が46.7%で最も多くなっており、以下、「特別なことはない」が31.5%、「朝早く目が覚める」が24.4%、「寝つきが悪い」が21.9%、「目覚めが悪い」が12.7%と続いている。

●性別にみると、男性、女性ともに「夜中に目が覚める」が最も多くなっており、次いで、「特別なことはない」が多くなっている。

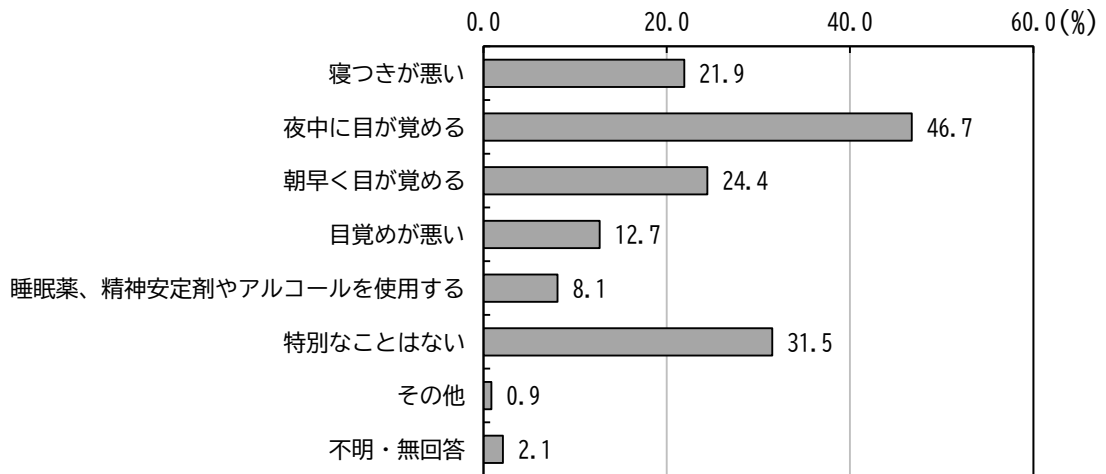
●年代別にみると、20歳代以下、30歳代は「特別なことはない」が、他の年代では「夜中に目が覚める」が最も多くなっている。「夜中に目が覚める」の割合をみると、最も多いのは70歳以上で56.9%、以下、60歳代で48.2%、50歳代で46.2%と続いており、年代が高くなるにつれて多くなっている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「夜中に目が覚める」が最も多くなっており、次いで、「特別なことはない」が多くなっている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「夜中に目が覚める」が最も多くなっており、次いで、「特別なことはない」が多くなっている。「夜中に目が覚める」の割合をみると、最も多いのは10年以上で47.5%、以下、3年～10年未満で42.5%、3年未満で35.3%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている(3年未満は「目覚めが悪い」と同率)。

■最近3か月間の睡眠について（複数回答）

□全体(N=1,260)



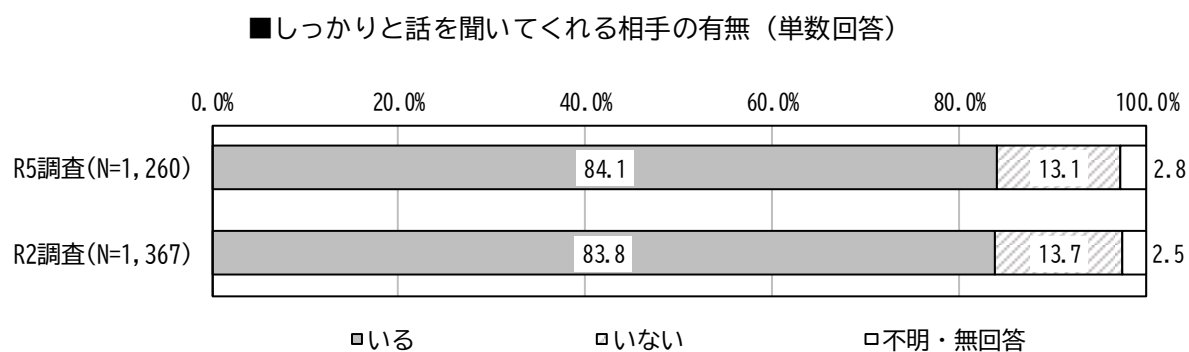
	寝つきが悪い	夜中に目が覚める	朝早く目が覚める	目覚めが悪い	睡眠薬、精神安定剤やアルコールを使用する	特別なことはない	その他	不明・無回答
全体(N=1,260)	21.9	46.7	24.4	12.7	8.1	31.5	0.9	2.1
男(N=547)	19.7	46.3	28.0	13.0	8.2	32.9	0.5	1.3
女(N=669)	23.6	47.1	21.1	12.6	7.6	30.8	1.2	2.5
20歳代以下(N=107)	19.6	19.6	10.3	27.1	4.7	47.7	1.9	0.9
30歳代(N=100)	30.0	34.0	12.0	27.0	8.0	35.0	1.0	1.0
40歳代(N=144)	26.4	42.4	22.9	18.1	10.4	34.7	0.7	1.4
50歳代(N=197)	20.3	46.2	23.4	17.8	5.6	31.0	1.5	1.0
60歳代(N=245)	19.6	48.2	31.4	7.8	6.5	33.5	0.8	2.0
70歳以上(N=452)	21.5	56.9	27.7	5.3	10.2	25.7	0.4	3.1
水口地域(N=536)	23.3	48.9	24.8	14.4	9.1	31.0	0.6	1.9
土山地域(N=99)	20.2	49.5	26.3	13.1	11.1	28.3	0.0	3.0
甲賀地域(N=156)	22.4	48.1	23.7	9.6	5.8	33.3	1.3	1.3
甲南地域(N=306)	23.9	43.5	22.9	12.1	6.9	31.4	2.0	2.0
信楽地域(N=151)	15.2	43.0	25.2	11.9	7.3	34.4	0.0	3.3
3年未満(N=34)	20.6	35.3	23.5	35.3	8.8	32.4	2.9	0.0
3年～10年未満(N=87)	23.0	42.5	16.1	17.2	10.3	33.3	1.1	2.3
10年以上(N=1,127)	22.0	47.5	25.0	11.8	7.9	31.3	0.8	2.1



(7) しっかりと話を聞いてくれる相手の有無

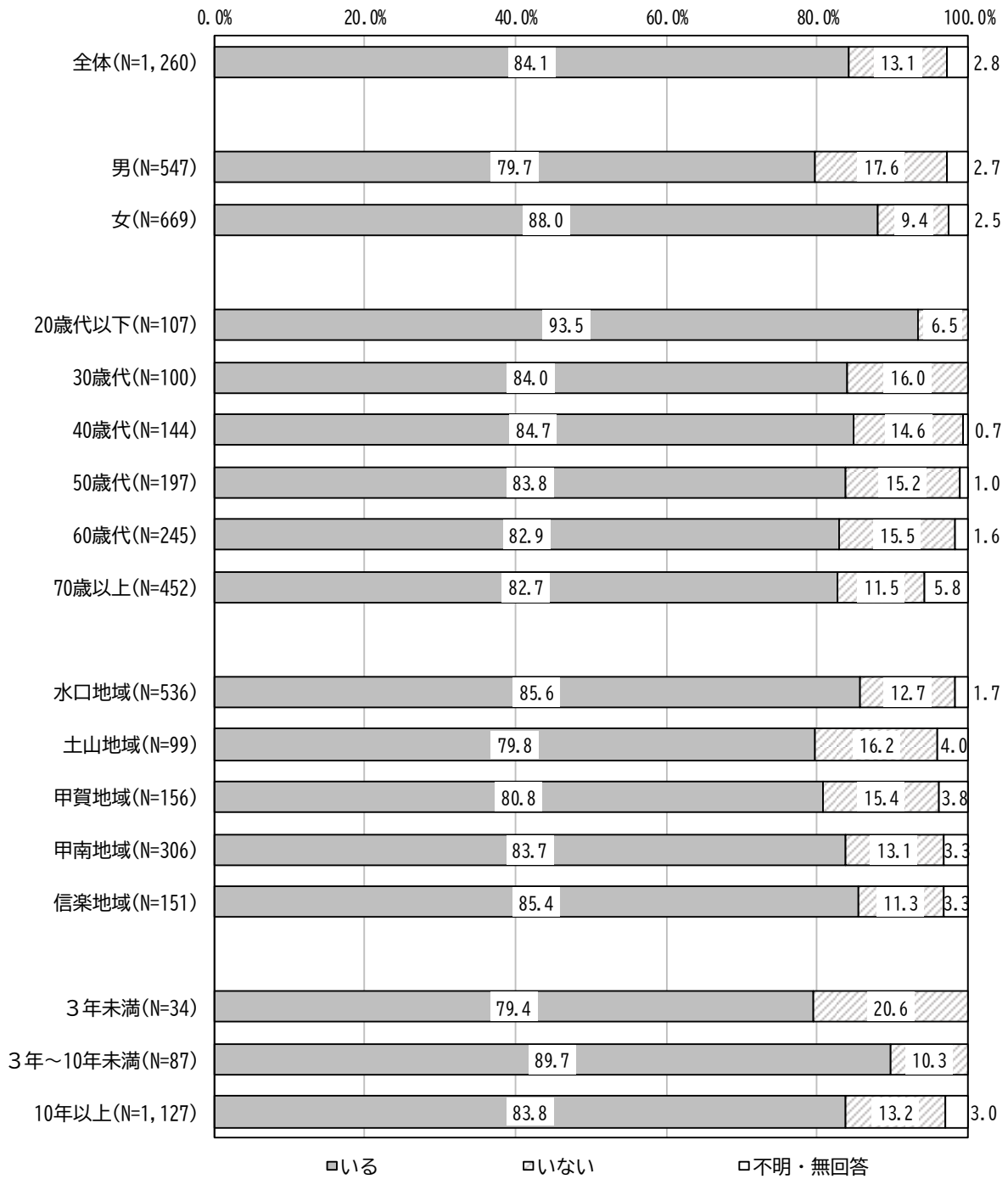
「問 19」 あなたには、しっかりと話を聞いてくれる人がいますか。(○は1つ)

前回の調査と比較すると、「いる」の割合が増加し、「いない」の割合が減少している。



- 全体で見ると、「いる」が84.1%、「いない」が13.1%となっている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「いる」が最も多くなっている。「いる」の割合をみると、男性は79.7%、女性は88.0%となっている。
- 年代別にみると、すべての年代において「いる」が最も多くなっている。「いる」の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で93.5%、以下、40歳代で84.7%、30歳代で84.0%と続いている。
- 居住地別にみると、すべての地域において「いる」が最も多くなっている。「いる」の割合をみると、最も多いのは水口地域で85.6%、以下、信楽地域で85.4%、甲南地域で83.7%、甲賀地域で80.8%、土山地域で79.8%と続いている。
- 居住年数別にみると、すべての年数において「いる」が最も多くなっている。「いる」の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で89.7%、以下、10年以上で83.8%、3年未満で79.4%と続いている。

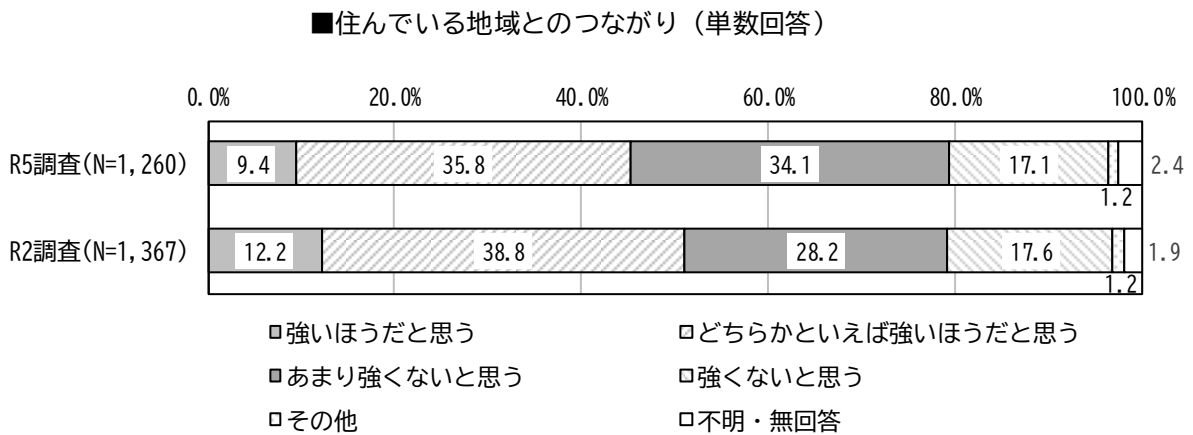
■しっかりと話を聞いてくれる相手の有無（単数回答）



(8) 住んでいる地域とのつながり

「問 20」 あなたは、自分の住んでいる地域とのつながり(お互いに助け合っていると思う気持ちは、強いほうだと思われませんか。(○は1つ)

前回の調査と比較すると、「強いほうだと思う」と「どちらかといえば強いほうだと思う」を合わせた『強いと思う』の割合が減少している。



●全体で見ると、「どちらかといえば強いほうだと思う」が35.8%で最も多くなっており、以下、「あまり強くないと思う」が34.1%、「強くないと思う」が17.1%、「強いほうだと思う」が9.4%と続いている。『強いと思う』の割合は45.2%となっている。

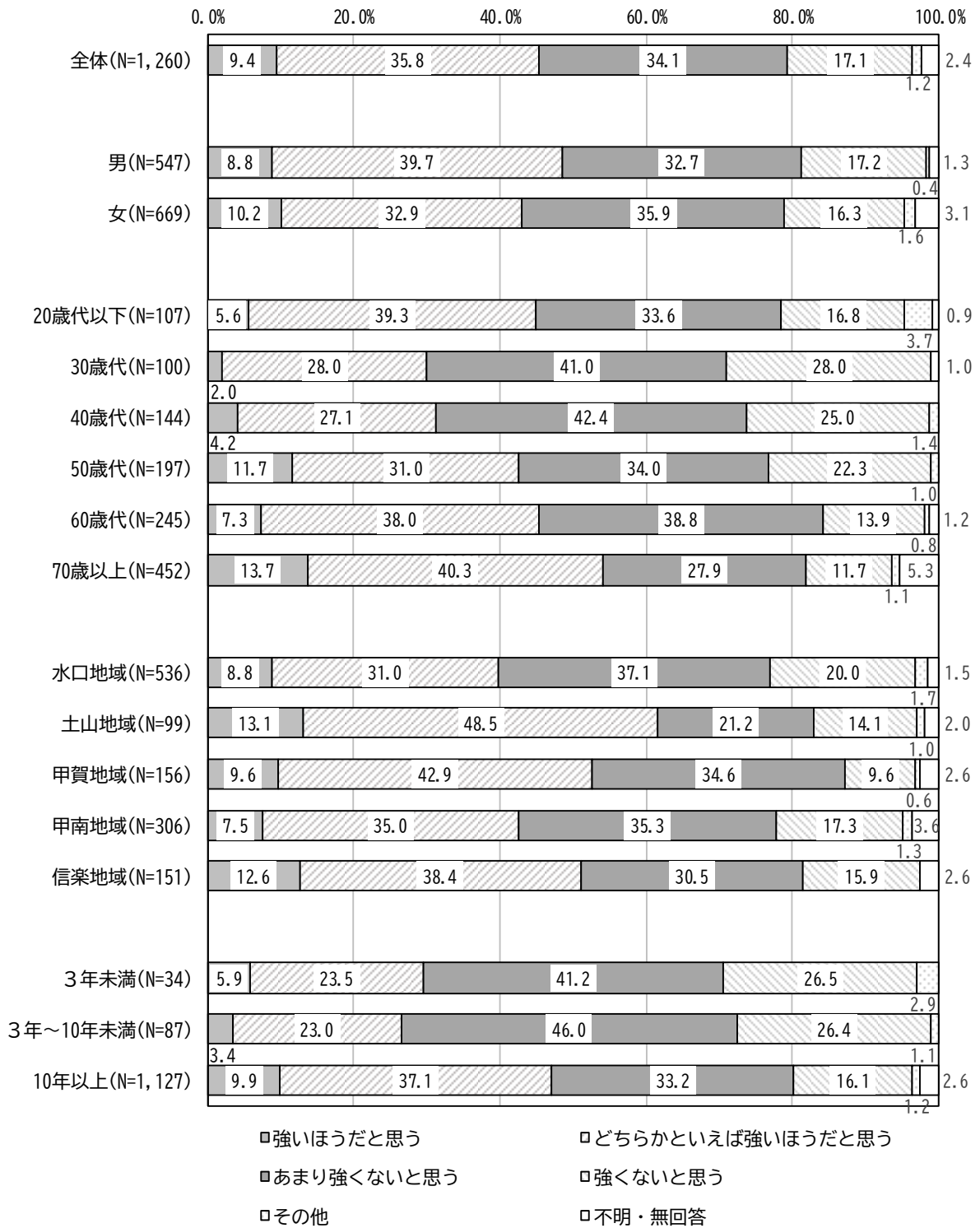
●性別にみると、男性は「どちらかといえば強いほうだと思う」が、女性は「あまり強くないと思う」が最も多くなっている。『強いと思う』の割合をみると、男性が48.5%、女性が43.1%となっている。

●年代別にみると、20歳以下、70歳以上は「どちらかといえば強いほうだと思う」が、他の年代では「あまり強くないと思う」が最も多くなっている。『強いと思う』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で54.0%、以下、60歳代で45.3%、20歳代以下で44.9%と続いている。

●居住地域別にみると、水口地域、甲南地域は「あまり強くないと思う」が、他の地域では「どちらかといえば強いほうだと思う」が最も多くなっている。『強いと思う』の割合をみると、最も多いのは土山地域で61.6%、以下、甲賀地域で52.5%、信楽地域で51.0%、甲南地域で42.5%、水口地域で39.8%と続いている。

●居住年数別にみると、10年以上は「どちらかといえば強いほうだと思う」が、他の年数では「あまり強くないと思う」が最も多くなっている。『強いと思う』の割合をみると、最も多いのは10年以上で47.0%、以下、3年未満で29.4%、3年～10年未満で26.4%と続いている。

■住んでいる地域とのつながり（単数回答）



(9) 歯や口の症状について

「問 21」 あなたは、歯や口について、次の症状がありますか。(○はいくつでも)

前回の調査と比較すると、「特に症状はない」の割合が増加している。

■歯や口の症状について（複数回答）

	特に症状はない	歯茎が腫れることがある	歯が痛んだり、しみることもある	歯茎から血が出ることもある	口臭が気になる	その他	不明・無回答
R5調査(N=1,260)	47.5	18.8	18.7	13.3	16.8	3.9	3.3
R2調査(N=1,367)	41.0	20.4	24.9	16.1	18.4	4.6	4.1

●全体でみると、「特に症状はない」が47.5%で最も多くなっており、以下、「歯茎が腫れることがある」が18.8%、「歯が痛んだり、しみることもある」が18.7%、「口臭が気になる」が16.8%、「歯茎から血が出ることもある」が13.3%と続いている。

●性別にみると、男性、女性ともに「特に症状はない」が最も多くなっており、次いで、男性は「歯が痛んだり、しみることもある」が、女性は「歯茎が腫れることがある」が多くなっている。

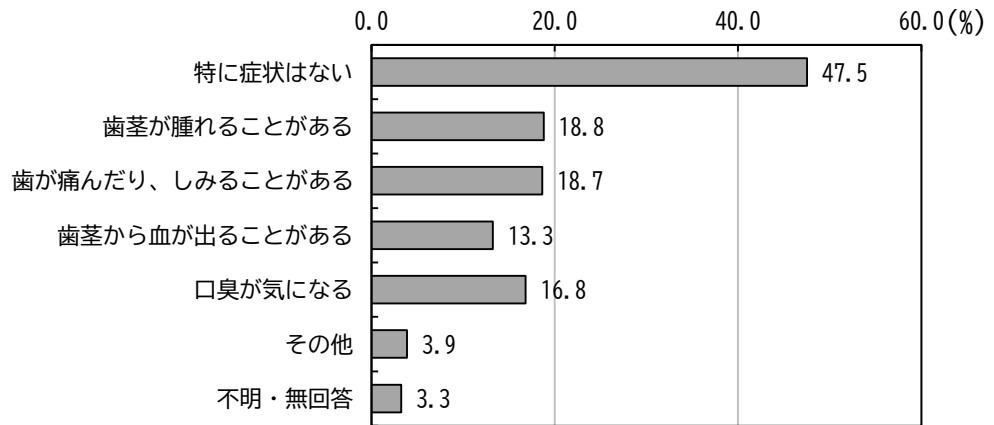
●年代別にみると、すべての年代において「特に症状はない」が最も多くなっている。症状でみると、20歳代以下は「歯が痛んだり、しみることもある」が、30歳代は「歯茎から血が出ることもある」が、40歳代は「口臭が気になる」が、他の年代では「歯茎が腫れることがある」が多くなっている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「特に症状はない」が最も多くなっている。「特に症状はない」の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で55.8%、以下、信楽地域で51.0%、水口地域で46.1%、甲南地域で45.4%、土山地域で44.4%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「特に症状はない」が最も多くなっている。

■ 歯や口の症状について（複数回答）

□ 全体(N=1,260)



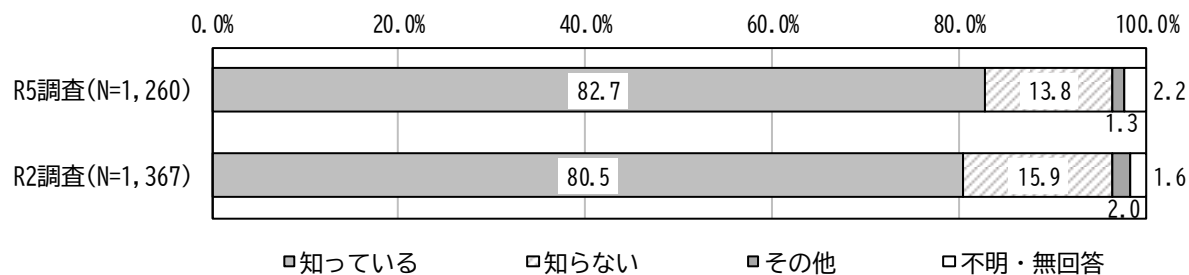
	特に症状はない	歯茎が腫れることがある	歯が痛んだり、しみることもある	歯茎から血が出ることもある	口臭が気になる	その他	不明・無回答
全体(N=1,260)	47.5	18.8	18.7	13.3	16.8	3.9	3.3
男(N=547)	47.2	17.4	19.2	14.6	18.8	3.7	2.0
女(N=669)	48.1	19.4	18.8	12.0	15.5	4.2	3.9
20歳代以下(N=107)	62.6	8.4	16.8	7.5	13.1	4.7	0.0
30歳代(N=100)	48.0	12.0	21.0	24.0	20.0	3.0	1.0
40歳代(N=144)	42.4	18.1	20.8	17.4	21.5	2.8	1.4
50歳代(N=197)	41.6	24.4	23.4	18.8	23.4	2.0	1.0
60歳代(N=245)	44.5	25.3	20.4	14.7	18.8	2.4	1.6
70歳以上(N=452)	49.6	17.5	15.5	8.0	12.2	5.5	6.4
水口地域(N=536)	46.1	18.3	18.5	13.8	17.0	4.1	3.4
土山地域(N=99)	44.4	17.2	20.2	19.2	13.1	5.1	4.0
甲賀地域(N=156)	55.8	14.7	17.3	12.2	17.9	3.2	1.9
甲南地域(N=306)	45.4	20.3	19.6	12.7	17.3	3.9	3.3
信楽地域(N=151)	51.0	22.5	19.2	9.9	17.9	2.6	2.6
3年未満(N=34)	44.1	23.5	35.3	23.5	11.8	0.0	0.0
3年～10年未満(N=87)	42.5	19.5	16.1	21.8	26.4	5.7	0.0
10年以上(N=1,127)	48.1	18.6	18.5	12.3	16.3	3.8	3.5

(10) 血液検査や血圧値などの健診結果の見方について

「問 22」 あなたは、血液検査や血圧値などの健診結果の見方をご存じですか。(○は1つ)

前回の調査と比較すると、「知っている」の割合が増加し、「知らない」の割合が減少している。

■血液検査や血圧値などの健診結果の見方について（単数回答）



●全体で見ると、「知っている」が82.7%で最も多くなっており、以下、「知らない」が13.8%と続いている。

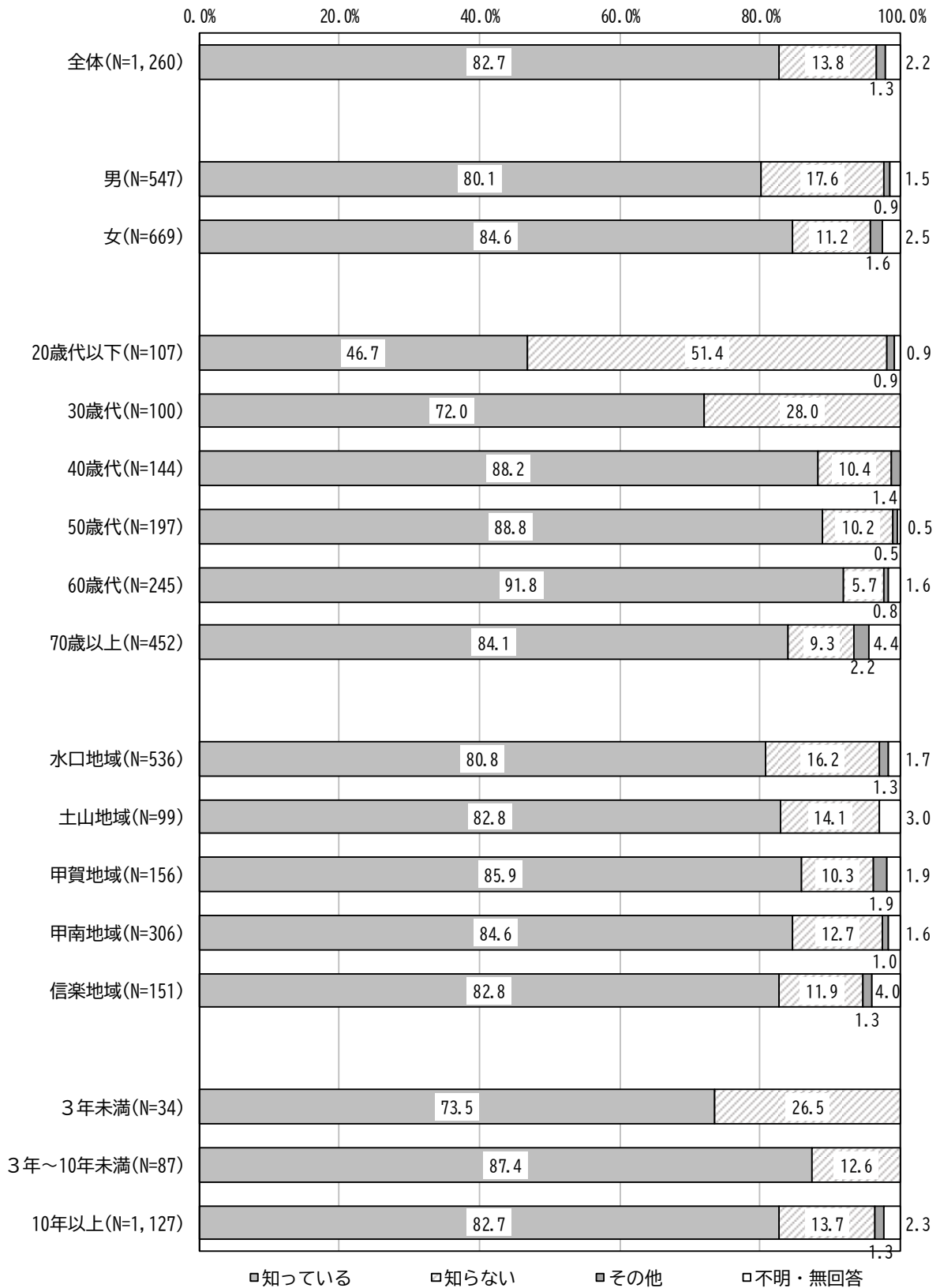
●性別にみると、男性、女性ともに「知っている」が最も多くなっている。「知っている」の割合をみると、男性が80.1%、女性が84.6%となっている。

●年代別にみると、20歳代以下は「知らない」が、他の年代では「知っている」が最も多くなっている。「知っている」の割合をみると、最も多いのは60歳代で91.8%、以下、50歳代で88.8%、40歳代で88.2%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「知っている」が最も多くなっている。「知っている」の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で85.9%、以下、甲南地域で84.6%、土山地域、信楽地域で82.8%、水口地域で80.8%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「知っている」が最も多くなっている。「知っている」の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で87.4%、以下、10年以上で82.7%、3年未満で73.5%と続いている。

■血液検査や血圧値などの健診結果の見方について（単数回答）





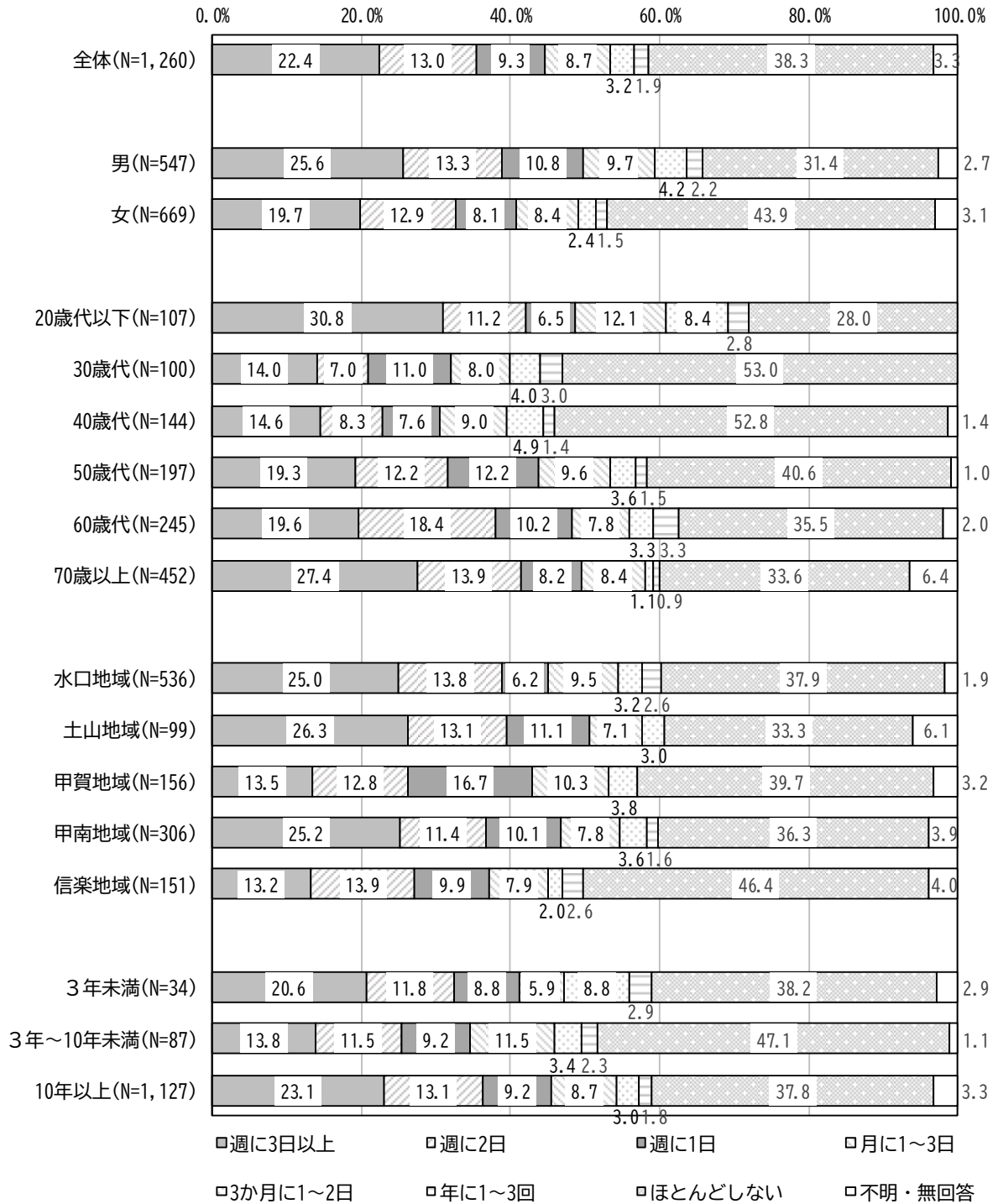
### 3 スポーツについて

#### (1) 1回30分以上の運動頻度

「問 23」 1回30分以上の運動を、どの程度行っていますか。(○は1つ)

- 全体で見ると、「ほとんどしない」が38.3%で最も多くなっており、以下、「週に3日以上」が22.4%、「週に2日」が13.0%、「週に1日」が9.3%と続いている。「週に3日以上」と「週に2日」と「週に1日」を合わせた『週に数回』の割合は44.7%となっている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「ほとんどしない」が最も多くなっている。『週に数回』の割合をみると、男性が49.7%、女性が40.7%となっている。
- 年代別にみると、20歳代以下は「週に3日以上」が、他の年代では「ほとんどしない」が最も多くなっている。『週に数回』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で49.5%、以下、20歳代以下で48.5%、60歳代で48.2%と続いている。
- 居住地域別にみると、すべての地域において「ほとんどしない」が最も多くなっている。『週に数回』の割合をみると、最も多いのは土山地域で50.5%、以下、甲南地域で46.7%、水口地域で45.0%、甲賀地域で43.0%、信楽地域で37.0%と続いている。
- 居住年数別にみると、すべての年数において「ほとんどしない」が最も多くなっている。『週に数回』の割合をみると、最も多いのは10年以上で45.4%、以下、3年未満で41.2%、3年～10年未満で34.5%と続いている。

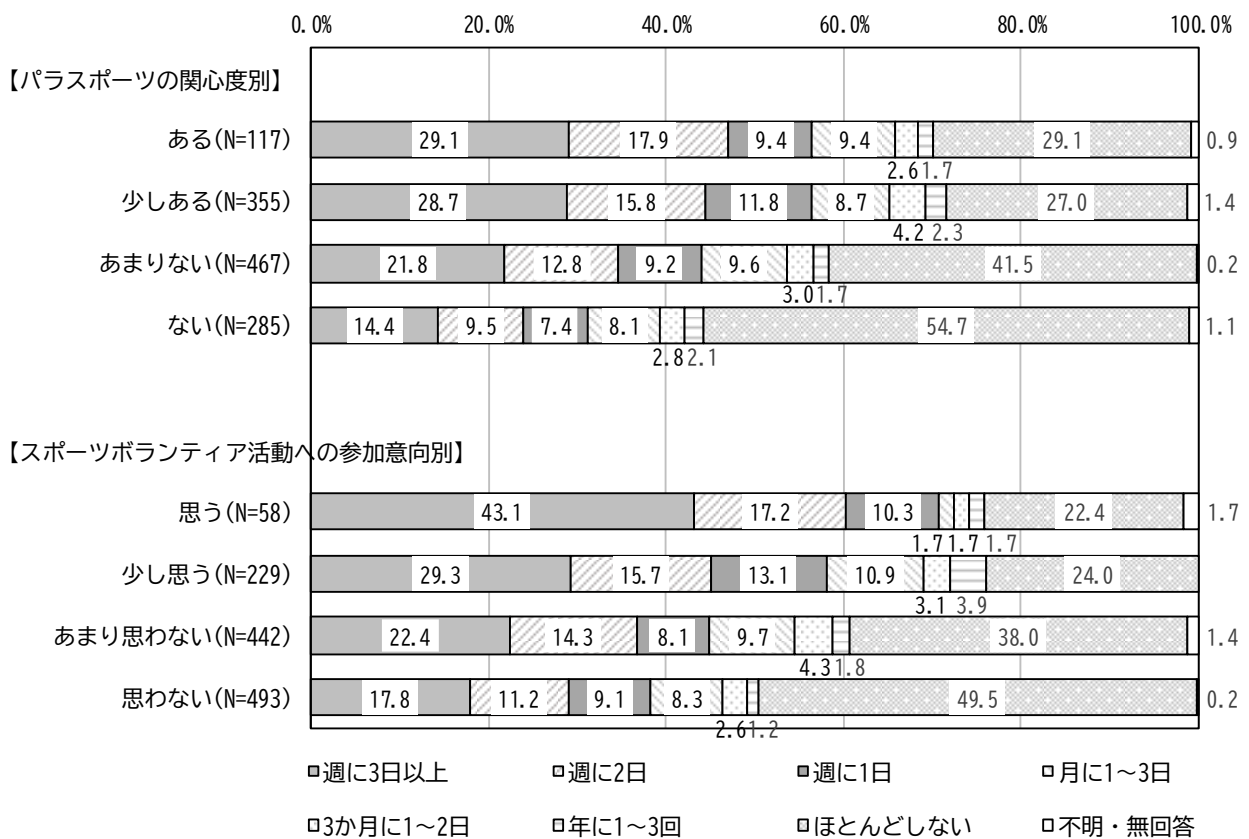
■1回30分以上の運動頻度（単数回答）



●パラスポーツの関心度別にみると、ある、少しあるは「週に3日以上」が、他の関心度では「ほとんどしない」が最も多くなっている（あるは「ほとんどしない」と同率）。『週に数回』の割合をみると、最も多いのはあるで56.4%、以下、少しあるで56.3%、あまりないで43.9%と続いており、関心度が高くなるにつれて多くなっている。

●スポーツボランティア活動への参加意向別にみると、思う、少し思うは「週に3日以上」が、あまり思わない、思わないでは「ほとんどしない」が最も多くなっている。『週に数回』の割合をみると、最も多いのは思うで70.7%、以下、少しあるで58.1%、あまり思わないで44.8%と続いており、意向が強くなるにつれて多くなっている。

■1回30分以上の運動頻度（単数回答）



## (2) 複数人で行うスポーツをする機会

「問 24」 あなたは、複数人で行うスポーツ(卓球、テニス、サッカー、バレーボール等)をする機会がありますか。(○は1つ)

●全体で見ると、「全くない」が 77.3%で最も多くなっており、以下、「週1回以上ある」が 7.8%、「年数回ある」が 7.5%、「月数回ある」が 4.4%と続いている。「週1回以上ある」と「月数回ある」と「年数回ある」を合わせた『機会あり』の割合は 19.7%となっている。

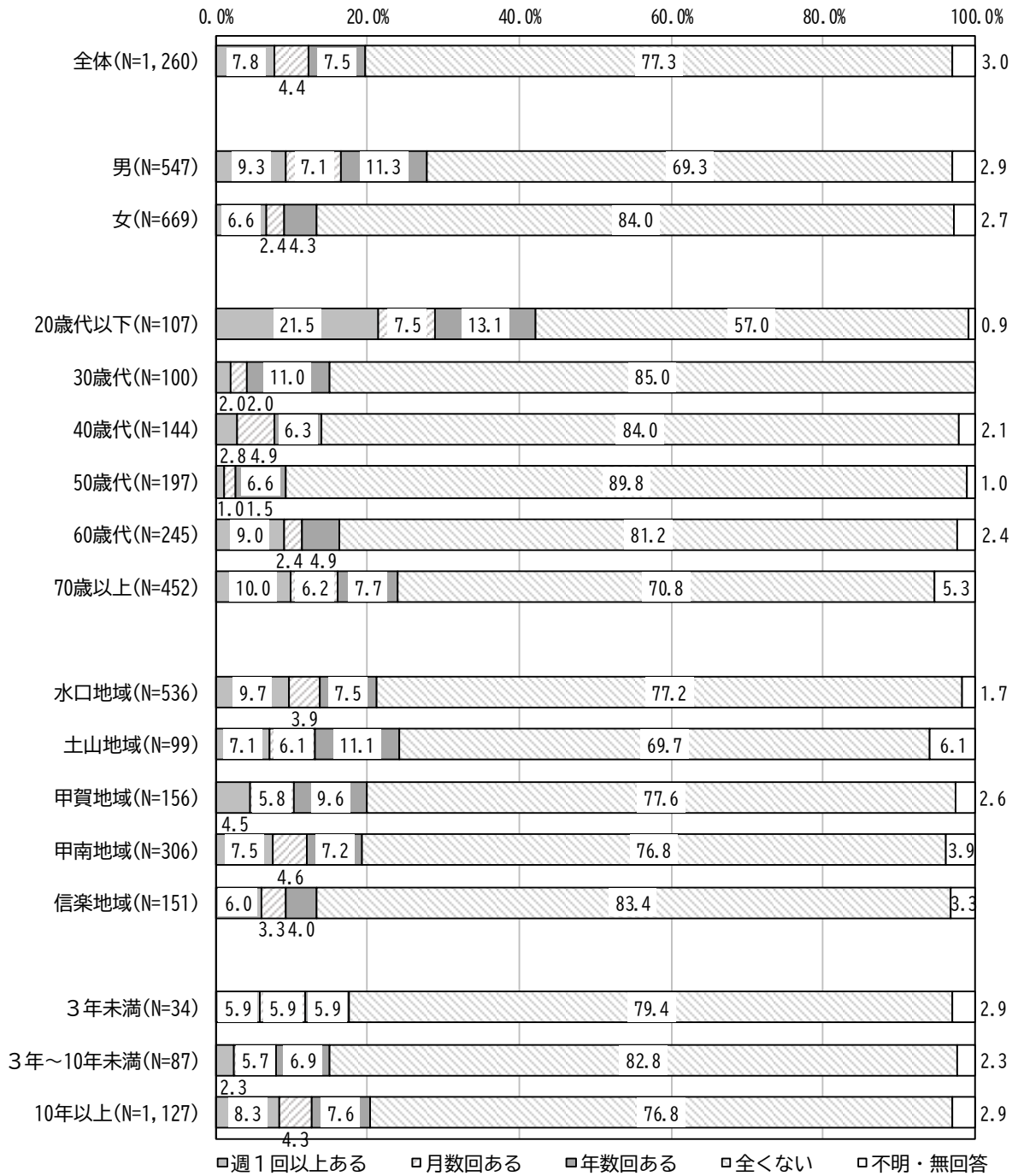
●性別にみると、男性、女性ともに「全くない」が最も多くなっている。『機会あり』の割合をみると、男性が 27.7%、女性が 13.3%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「全くない」が最も多くなっている。『機会あり』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 42.1%、以下、70 歳以上で 23.9%、60 歳代で 16.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「全くない」が最も多くなっている。『機会あり』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 24.2%、以下、水口地域で 21.1%、甲賀地域で 19.9%、甲南地域で 19.3%、信楽地域で 13.3%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「全くない」が最も多くなっている。『機会あり』の割合をみると、最も多いのは10年以上で 20.2%、以下、3 年未満で 17.7%、3 年～10 年未満で 14.9%と続いている。

■複数人で行うスポーツをする機会（単数回答）

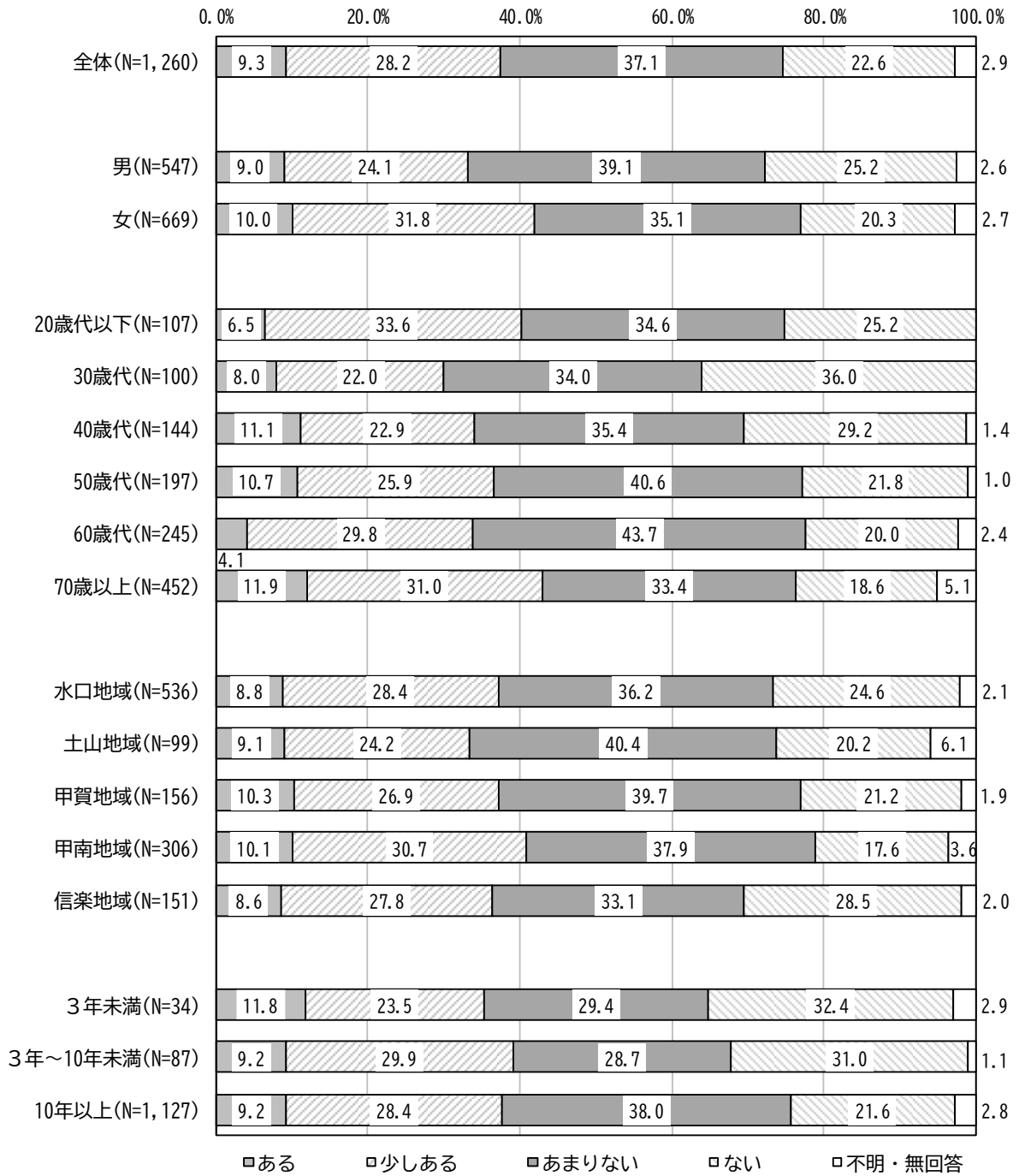


### (3) パラスポーツ(障がい者スポーツ)への関心

◀問 25▶ パラスポーツ(障がい者スポーツ)に関心がありますか。(○は1つ)

- 全体で見ると、「あまりない」が 37.1%で最も多くなっており、以下、「少しある」が 28.2%、「ない」が 22.6%、「ある」が 9.3%と続いている。「ある」と「少しある」を合わせた『関心あり』の割合は 37.5%となっている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「あまりない」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、男性が 33.1%、女性が 41.8%となっている。
- 年代別にみると、30 歳代は「ない」が、他の年代では「あまりない」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 42.9%、以下、20 歳代以下で 40.1%、50 歳代で 36.6%と続いている。
- 居住地域別にみると、すべての地域において「あまりない」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 40.8%、以下、水口地域、甲賀地域で 37.2%、信楽地域で 36.4%、土山地域で 33.3%と続いている。
- 居住年数別にみると、10年以上は「あまりない」が、他の年数では「ない」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 39.1%、以下、10年以上で 37.6%、3 年未満で 35.3%と続いている。

■パラスポーツ（障がい者スポーツ）の関心度（単数回答）



#### (4) スポーツボランティア活動への参加意向

「問 26」 スポーツボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

●全体で見ると、「思わない」が39.1%で最も多くなっており、以下、「あまり思わない」が35.1%、「少し思う」が18.2%、「思う」が4.6%と続いている。「思う」と「少し思う」を合わせた『意向あり』の割合は22.8%となっている。

●性別にみると、男性は「あまり思わない」が、女性は「思わない」が最も多くなっている。『意向あり』の割合をみると、男性が24.5%、女性が21.8%となっている。

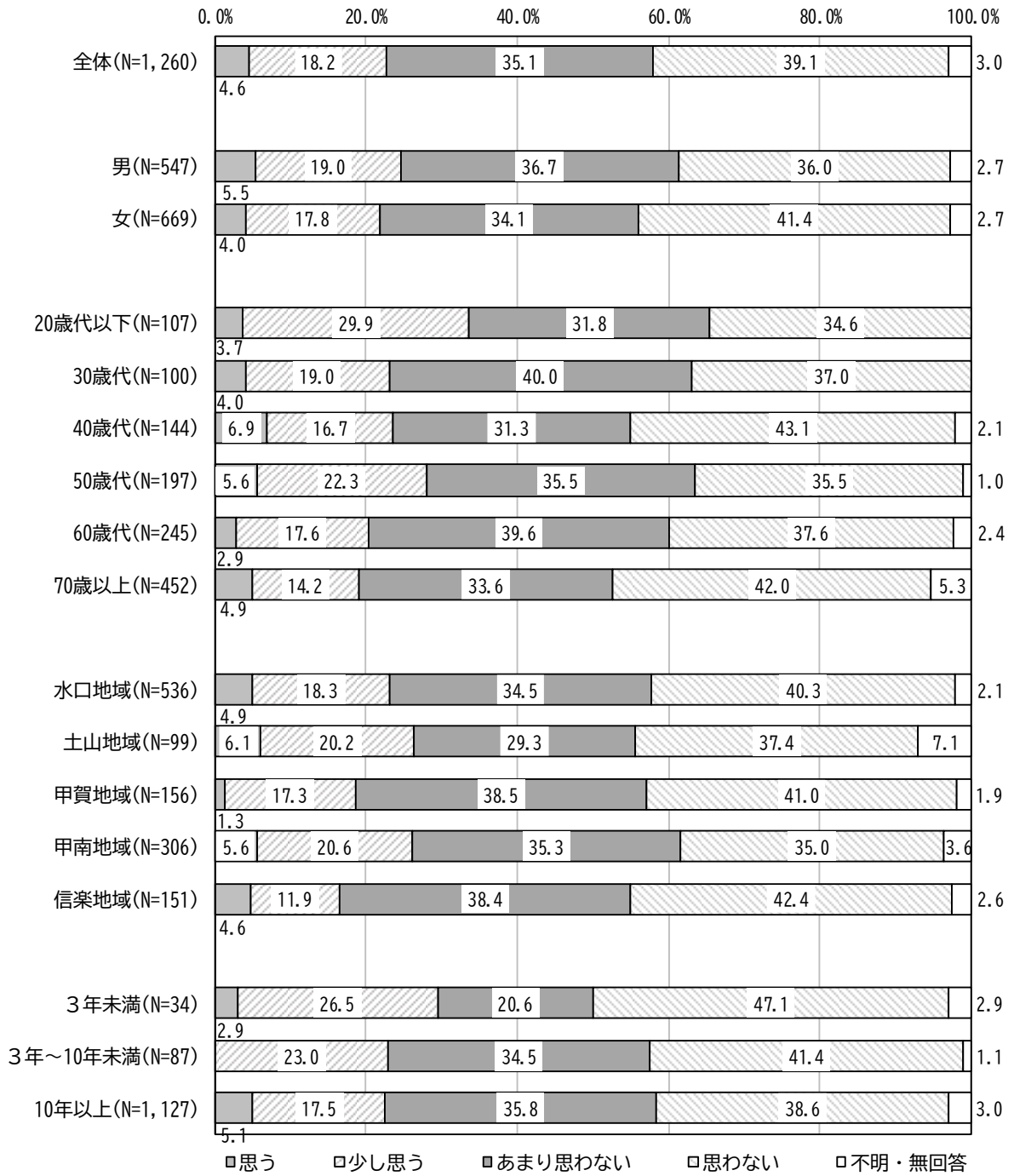
●年代別にみると、30歳代、50歳代、60歳代は「あまり思わない」が、他の年代では「思わない」が最も多くなっている(50歳代は「思わない」と同率)。『意向あり』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で33.6%、以下、50歳代で27.9%、40歳代で23.6%と続いている。

●居住地域別にみると、甲南地域は「あまり思わない」が、他の地域では「思わない」が最も多くなっている。『意向あり』の割合をみると、最も多いのは土山地域で26.3%、以下、甲南地域で26.2%、水口地域で23.2%、甲賀地域で18.6%、信楽地域で16.5%と続いている。

●居住年数別にみると、すべて年数において「思わない」が最も多くなっている。『意向あり』の割合をみると、最も多いのは3年未満で29.4%、以下、3年～10年未満で23.0%、10年以上で22.6%と続いており、年数が短くなるにつれて多くなっている。



■スポーツボランティア活動への参加意向（単数回答）



# 甲賀市市政に関する意識調査

## アンケートID

= ご協力のお願い =

※上記のIDは無作為に割り当てたものであり、個人を特定するものではありません。

日ごろから甲賀市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
市では、まちづくりの主役である市民の皆様のお思いや願いをしっかりと受け止め、市政に活かしていくため、「市政に関する意識調査」を実施します。

いただいたご意見等は、高齢者から若者、子どもまで、健康でいきいきと活躍できる地域をつくるための大切な基礎資料とさせていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年(2023年)10月

甲賀市長

岩永裕貴

### ご回答にあたってのお願い

■ **令和5年10月20日(金)までに、ご回答をお願いします。**

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。  
※返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- ご回答は本調査票またはインターネット回答(同封のインターネット回答操作案内参照)のどちらか一方のみにてお願いします。
- 今回の調査は、無作為に選ばせていただいた市内にお住まいの16歳以上の方3,000人を対象に実施しています。
- この調査は、個人を対象としていますので、お送りした封筒に書かれているあて名の方ご自身がご回答ください。(ご本人による回答が困難な場合は、ご家族等の方がご本人から聞き取って代筆ください。)
- この調査の回答は、無記名でお願いしています。回答いただいた内容は、統計的に処理しますので、内容が外部にもれたりしてご迷惑をおかけすることはありません。安心してご回答ください。
- 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○印をつけてください。
- 回答したくない設問については、お答えいただくことなく結構です。

- 甲賀市をより良いまちにするために調査にご協力ください。わからない事があれば下記へご連絡ください。
- Please cooperate with our survey to make Koka City a better town. Please call this number as follows, if you have any questions.
- 고카시를 보다 좋은 도시로 만들기 위한 조사에 협력해 주십시오. 모르는 것이 있으시면 다음으로 연락해 주십시오.
- 为了把甲贺市变成更好的城市,请协助调查。如果有不明白的地方,请联系以下地址。
- Pedimos sua colaboração em relação a esta pesquisa, para fazer da Cidade de Koka uma cidade melhor. Em caso de dúvidas, favor entrar em contato pelo telefone descrito abaixo.
- Por favor coopere con la encuesta para hacer de la Ciudad de Koka una ciudad mejor. Si tuvieran alguna duda, pueden llamar al número de teléfono que figura en la parte de abajo.

### 【本調査に関する問合せ先】

甲賀市総合政策部 秘書広報課 TEL 0748-69-2101(直通) FAX 0748-63-4619

## 1. あなたご自身のことについておたずねします

《問1》 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- |     |     |          |
|-----|-----|----------|
| 1 男 | 2 女 | 3 答えたくない |
|-----|-----|----------|

《問2》 あなたの年齢は、10月1日現在でおいくつですか。(○は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 16～17歳  | 2 18～19歳  | 3 20～24歳  |
| 4 25～29歳  | 5 30～34歳  | 6 35～39歳  |
| 7 40～44歳  | 8 45～49歳  | 9 50～54歳  |
| 10 55～59歳 | 11 60～64歳 | 12 65～69歳 |
| 13 70～74歳 | 14 75歳以上  |           |

《問3》 あなたの住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1 水口地域 | 2 土山地域 | 3 甲賀地域 |
| 4 甲南地域 | 5 信楽地域 |        |

《問4》 あなたは、いつから甲賀市にお住まいですか。(○は1つ)

- |                          |
|--------------------------|
| 1 生まれてからずっと甲賀市に住んでいる     |
| 2 甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した |
| 3 市外で生まれて甲賀市に転入した        |

↓  
《問4-1》 問4で「2」または「3」と回答された方におたずねします。  
転入後、何年ぐらい甲賀市にお住まいですか。(○は1つ)

- |        |            |         |
|--------|------------|---------|
| 1 3年未満 | 2 3年～10年未満 | 3 10年以上 |
|--------|------------|---------|

「問5」 あなたの世帯(同居)はどのような構成ですか。(○は1つ)

- |                |          |              |
|----------------|----------|--------------|
| 1 単身           | 2 夫婦のみ   | 3 二世帯世帯(親・子) |
| 4 三世帯世帯(親・子・孫) | 5 その他( ) |              |

「問5-1」 「問5」で「3・4・5」のいずれかに回答された方におたずねします。  
あなたに、就学前または就学しているお子様・お孫様(同居)はおられますか。  
(○はいくつでも) ※別居されているお子様・お孫様は含みません。

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 2歳以下                | 2 3歳～小学校入学前                |
| 3 小学生                 | 4 中学生                      |
| 5 高校生                 | 6 専門学校生・短大生・予備校生・大学生(大学院生) |
| 7 就学前または就学している子どもはいない |                            |

「問6」 あなたの職業等は何ですか。(○は1つ)

- |             |          |           |
|-------------|----------|-----------|
| 1 会社員       | 2 公務員    | 3 自営業     |
| 4 パート・アルバイト | 5 学生     | 6 専業主婦・主夫 |
| 7 無職        | 8 その他( ) |           |

「問6-1」 「問6」で「1～5」のいずれかに回答された方におたずねします。  
あなたの勤務地(通学地)はどちらですか。(○は1つ)

- |              |        |
|--------------|--------|
| 1 自宅         | 2 甲賀市内 |
| 3 甲賀市以外の滋賀県内 | 4 県外   |

2. 環境保全についておたずねします

《問7》 あなたが住んでいる地域周辺の現在の環境について、あなたの「満足度」と「重要度」についておたずねします。以下の①～⑯のそれぞれの項目について、右の欄の1～5の中からあなたの満足度合い、重要度合いに最も近い番号を選んでください。  
(それぞれ〇は1つ)

	満足度					重要度				
	1 満足	2 どちらかといえ ば	3 どちらともい えない	4 不 満	5 不 満	1 重 要	2 重 要	3 ど ち ら か と い え ば	4 重 要 で は な い	5 重 要 で は な い
① 川や池の水質のきれいさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 大気きれいさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 星空の見やすさ(光害がない)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 騒音や振動が無い静かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 地下水の水質のきれいさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 土壌が汚染されていない状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 悪臭が無い状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ ごみの不法投棄がされていない状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ ごみの分別の方法	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 自然災害に関する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ 町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭ 寺社等の歴史の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑮ 地域に伝えられてきた文化の継承	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑯ 市民の環境に対する意識	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

《問8》 現在の住所に10年以上お住まいの方におたずねします。

あなたの住む地域周辺の状況は、10年前と比べてどう変わりましたか。各項目について、あなたのお考えに近い番号を選んでください。(それぞれ○は1つ)

	1 よ く な つ た	2 変 わ ら な い	3 悪 く な つ た	4 わ か ら な い
① 川や池の水質のきれいさ	1	2	3	4
② 大気 <small>たいき</small> のきれいさ	1	2	3	4
③ 星空 <small>ほしぞら</small> の見やすさ <small>みやすさ</small> (光害 <small>ひかりがい</small> がない)	1	2	3	4
④ 騒音 <small>さうおん</small> や振動 <small>しんどう</small> が <small>な</small> 無い <small>しず</small> 静かさ	1	2	3	4
⑤ 地下水 <small>ちかすい</small> の水質 <small>すいしつ</small> のきれいさ	1	2	3	4
⑥ 土壌 <small>どじょう</small> が汚染 <small>おせん</small> されていない <small>じょうきょう</small> 状況	1	2	3	4
⑦ 悪臭 <small>あくしゅう</small> が <small>な</small> 無い <small>じょうきょう</small> 状況	1	2	3	4
⑧ ごみ <small>ごみ</small> の不法投棄 <small>ふほうとうき</small> が <small>な</small> されていない <small>じょうきょう</small> 状況	1	2	3	4
⑨ ごみ <small>ごみ</small> の分別 <small>ぶんべつ</small> の方法 <small>ほうほう</small>	1	2	3	4
⑩ 自然災害 <small>しぜんさいがい</small> に関する <small>かん</small> 安全性 <small>あんぜんせい</small>	1	2	3	4
⑪ 里山 <small>さとやま</small> や田んぼ <small>たんぼ</small> 、ため池 <small>ためいけ</small> など身近 <small>みぢか</small> な自然 <small>しぜん</small> の保全 <small>ほぜん</small>	1	2	3	4
⑫ 自然 <small>しぜん</small> と触れ合 <small>ふ</small> える水辺 <small>みずべ</small> や公園 <small>こうえん</small> の豊かさ <small>ゆた</small>	1	2	3	4
⑬ 町並み <small>まちな</small> や屋外 <small>おくがい</small> 広告 <small>こうこく</small> など、まちの景観 <small>けいかん</small> の保全 <small>ほぜん</small>	1	2	3	4
⑭ 寺社 <small>じしゃ</small> などの歴史 <small>れきし</small> の保全 <small>ほぜん</small>	1	2	3	4
⑮ 地域 <small>ちいき</small> に伝え <small>つた</small> えられてきた文化 <small>ぶんか</small> の継承 <small>けいしょう</small>	1	2	3	4
⑯ 市民 <small>しみん</small> の環境 <small>かんきょう</small> に対する意識 <small>いしき</small>	1	2	3	4

「問9」 環境保全を推進するために、今後甲賀市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援
- 2 事業所等の環境に配慮した取り組みの支援
- 3 環境を守るための規制や罰則の強化
- 4 環境に配慮した商品の普及や地産地消の推進
- 5 野生動植物の保護
- 6 森林や河川などの自然環境の保全や再生
- 7 ごみの減量化やリサイクルへの取り組みの推進
- 8 自然エネルギーやバイオマスエネルギー導入促進
- 9 公共交通機関の利用促進
- 10 次世代型自動車(ハイブリッド車、電気自動車など)の導入促進
- 11 学校における環境教育の充実や市民への環境学習の充実
- 12 環境に関する情報提供の充実
- 13 その他( )

「問10」 あなたは、「生ごみ堆肥化循環システム」という取り組みをご存じですか。(〇は1つ)

- |         |             |        |
|---------|-------------|--------|
| 1 知っている | 2 名前だけ知っている | 3 知らない |
|---------|-------------|--------|

「問11」 あなたは、「生ごみ堆肥化循環システム」に参加されていますか。(〇は1つ)

- |          |              |           |
|----------|--------------|-----------|
| 1 参加している | 2 参加していたが止めた | 3 参加していない |
|----------|--------------|-----------|



「問11-1」 「問11」で「2」または「3」と回答された方におたずねします。  
あなたが参加されていないのはどのような理由からですか。(〇は1つ)

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1 畑等で自家処理している | 2 手続きがわからない |
| 3 分別がわずらわしい   | 4 その他( )    |

「問12」市では誰もがよりよい環境を意識した行動ができるまちを目指すため、デコ活※を推進しています。あなたは、『デコ活』をご存じですか。(○は1つ)

※ デコ活とは、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称であり、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

- |             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 1 詳しく知っている  | 2 少し知っている             |
| 3 名前だけ知っている | 4 聞いたことがない(今回はじめて知った) |

### 3. 健康についておたずねします

「問13」あなたは、普段朝食を食べていますか。(○は1つ)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 毎日食べる    | 2 週4～5日食べる |
| 3 週2～3日食べる | 4 ほとんど食べない |

「問14」主食※1、主菜※2、副菜※3を組み合わせた食事を一日2回以上とる日が、週に何日ありますか。(○は1つ)

※1 主食：ご飯、パン、めん類など。

※2 主菜：魚や肉、卵、大豆製品など、おかずの中心になるもの。

※3 副菜：野菜や果物など、サラダや小鉢、汁物。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 毎日食べる    | 2 週4～5日食べる |
| 3 週2～3日食べる | 4 ほとんど食べない |

「問15」あなたは日常生活の中で歩数を計ることがありますか。(○は1つ)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 毎日計っている  | 2 時々計ることがある |
| 3 計ったことがない | 4 その他( )    |

「問15-1」問15で「1」または「2」と回答された方におたずねします。  
あなたの一日の歩数は平均してどのくらいですか。(○は1つ)

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 6,000歩未満       | 2 6,000歩～8,000歩 |
| 3 8,000歩～10,000歩 | 4 10,000歩以上     |
| 5 その他( )         |                 |



《問16》あなたは、スポーツ・趣味・ボランティア活動等を通じて、人と交流する機会がありますか。(〇は1つ)

1 ある                      2 時々ある                      3 あまりない                      4 ない

《問17》あなたは、最近1か月間に、ストレスを感じましたか。(〇は1つ)

1 感じた                      2 感じなかった                      3 どちらともいえない

《問18》あなたは、最近3か月間で睡眠について、次のようなことがありましたか。  
(〇はいくつでも)

1 寝つきが悪い                      2 夜中に目が覚める  
3 朝早く目が覚める                      4 目覚めが悪い  
5 睡眠薬、精神安定剤やアルコールを使用する                      6 特別なことはない  
7 その他(                      )

《問19》あなたには、しっかりと話を聞いてくれる人がいますか。(〇は1つ)

1 いる                      2 いない

《問20》あなたは、自分の住んでいる地域とのつながり(お互いに助け合っていると思う気持ち)は、強いほうだと思われませんか。(〇は1つ)

1 強いほうだと思う                      2 どちらかといえば強いほうだと思う                      3 あまり強くないと思う  
4 強くないと思う                      5 その他(                      )

《問21》あなたは、歯や口について、次の症状がありますか。(〇はいくつでも)

1 特に症状はない                      2 歯茎が腫れることがある  
3 歯が痛んだり、しみる                      4 歯茎から血が出る                      ことがある  
5 口臭が気になる                      6 その他(                      )

《問22》あなたは、血液検査や血圧値などの健診結果の見方をご存じですか。(〇は1つ)

1 知っている                      2 知らない                      3 その他(                      )

#### 4. スポーツについておたずねします

《問23》 1回30分以上の運動※を、どの程度行っていますか。(○は1つ)

※ 運動とは散歩などを含みます。また、学校の体育の授業や職業として行ったものは除いてください。

1 週に3日以上	2 週に2日	3 週に1日
4 月に1~3日	5 3か月に1~2日	6 年に1~3回
7 ほとんどしない		

《問24》 あなたは、複数人で行うスポーツ(卓球、テニス、サッカー、バレーボール等)をする機会がありますか。(○は1つ)

1 週1回以上ある	2 月数回ある
3 年数回ある	4 全くない

《問25》 パラスポーツ(障がい者スポーツ)に関心がありますか。(○は1つ)

1 ある	2 少しある	3 あまりない	4 ない
------	--------	---------	------

《問26》 スポーツボランティア活動に参加したいと思いませんか。(○は1つ)

1 思う	2 少し思う	3 あまり思わない	4 思わない
------	--------	-----------	--------

質問は以上です、ご協力ありがとうございました。

回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

令和5年10月20日(金)までに、ポストにご投函ください。

甲賀市市政に関する意識調査報告書

【環境保全・健康づくり・スポーツ】

発行日：令和6（2024）年3月

編集・発行：甲賀市総合政策部秘書広報課

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口 6053 番地

Tel:0748-69-2101/Fax:0748-63-4619